Technics®

# 取扱説明書

ネットワークオーディオアンプ

SU-G30

音楽は、国を越えて、世代を越えて、
人の心を揺さぶり続けます。
そして時代はいつも、
新しい感動を求めています。
まだ経験したことのない音との出会い。
音楽を愛するすべての人に、
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™ Technics

# 最高水準の感動を、
# 世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

# はじめに

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（08 ～ 10 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書（別添付）は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

**■本書内の表現について**

- 参照していただくページを（⇒ ○○）で示しています。
- イラストや画面表示が実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

# 本機の特長

## JENO Engine、GaN-FET Driver など高音質技術を搭載

音声信号をフルデジタルのまま、入力からパワー段まで低ジッター伝送・処理する JENO Engine、高速でロスの少ないスイッチングを行う GaN-FET Driver、あらゆるスピーカーを理想的なゲイン・位相特性でドライブするスピーカー負荷適応処理 LAPC を搭載。さらに、出力電圧の安定化を図る SU-G30 専用設計の低歪スイッチングパワーサプライを採用することにより、テクニクスが理想とする正確無比な信号増幅を実現しました。

## ハイレゾ音源からアナログ音源まで、あらゆるソースに対応した高品位処理

デジタル音源（DLNA/USB/Bluetooth®）はもちろん、iOS 機器やアナログ音源（ライン /Phono）など、多彩な音楽ソースの入力に対応。
あらゆる音楽ソースを、テクニクス独自の高音質技術で処理することにより、高品位な音で楽しむことができます。

## 一体型のシンプル構成により高音質・高性能の理想を実現

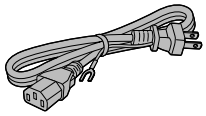
ネットワークオーディオ回路に徹底したジッター・ノイズ対策を施し、デジタルアンプとネットワークオーディオプレーヤーを一体化。
音楽データをデジタルのまま、最短のシグナルパスでパワー段まで伝送することにより音質劣化を排除し、妥協のない音質を追求しました。

# もくじ

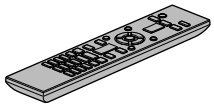

| | | |
|---|---|---|
| 安全上のご注意 | 08 | ご使用前に必ずお読みください |
| 取り扱いについて | 11 | 本機の設置 |
| 各部の名前と働き | 12 | 本体、リモコン |
| 接続する | 16 | スピーカー / 電源コードを接続する、ネットワークに接続する |
| 音楽を楽しむ | 24 | 接続した各種機器の音楽を再生する |
| 使いこなす | 36 | 本機の設定を変更する、出力補正機能を使う（LAPC） |
| 故障かな !? | 40 | 故障かな !? と思ったらご覧ください |
| 必要なとき | 45 | 著作権、仕様、保証とアフターサービスなど |


# 付属品

電源コード（1 本）
K2CF3YY00016



リモコン（1 個）
N2QAYA000115



リモコン用乾電池
（単 4 形、2 個）

- 付属品の品番は 2015 年 12 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
  また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」で
お買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/

パナソニックグループのショッピングサイト

Panasonic Store

# 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 | ⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

| | |
|---|---|
| ⃠ してはいけない内容です。 | ❗ 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠ 警告

電源プラグを抜く

**異常・故障時には直ちに使用を中止する**

**異常があったときには、電源プラグを抜く**
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

**電源コード・プラグを破損するようなことはしない**
**（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）**

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

**アース端子を電源コンセントに差し込まない**

火災・感電の原因になります。

**アース線の接続、取り外しは、電源プラグをコンセントに接続している状態では行わない**

感電の原因になります。
- アース線の接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。
- アース線の取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない**

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

**電池は誤った使いかたをしない**
- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所で使用・放置しない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

**電池の液がもれたときは、素手でさわらない**
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

**電池は、乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

## ⚠ 警告

**内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
• 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
• 特にお子様にはご注意ください。

**ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない**
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

**自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない**
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

**心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

**病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない**
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

分解禁止

**分解、改造をしない**
• 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれ手禁止

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
感電の原因になります。

**使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す**
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

**電源プラグのほこり等は定期的にとる**
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
• 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
• 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

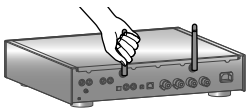
**アースは確実に行う**
本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。
• アース工事は専門業者にご依頼ください。

## ⚠ 注意

**不安定な場所に置かない**
**高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

**コードを接続した状態で移動しない**
接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

**本体のアンテナやつまみをつかんで持ち上げたり、運んだりしない**
落下すると、けがの原因になることがあります。
• また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。



## 必ずお守りください（続き）

### ⚠ 注意

**本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
• また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

**放熱を妨げない**
内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因になることがあります。
• 天板の上に物を置いたり、天面の通気孔をふさがないでください。

**使用時は天面に触れない**
セット天面は高温になり、やけどの原因になることがあります。

**異常に温度が高くなるところに置かない**
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
• 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
• また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

**油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない**
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

**本体のアンテナを目や顔に近づけない、人に向けない**
アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。
• アンテナを使用するときは、十分注意してください。

接触禁止

**雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない**
感電の原因になります。

**長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す**
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

**ヘッドホン接続前に、音量を下げる**
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
• 音量は少しずつ上げてご使用ください。

電源プラグを抜く

**長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く**
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
• USB デバイスや iPhone/iPad/iPod は、保護のため取り外しておいてください。

## 本機の設置

- 本機を移動させるときは、接続している機器をすべて取り外して電源を切って移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- 本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。
- 丈夫で水平な場所に設置してください。
- 設置場所が本機の重量に十分耐えられることをご確認ください。（本機の質量⇒ 48）
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

## つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「 つゆつき 」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「 つゆつき 」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

## お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

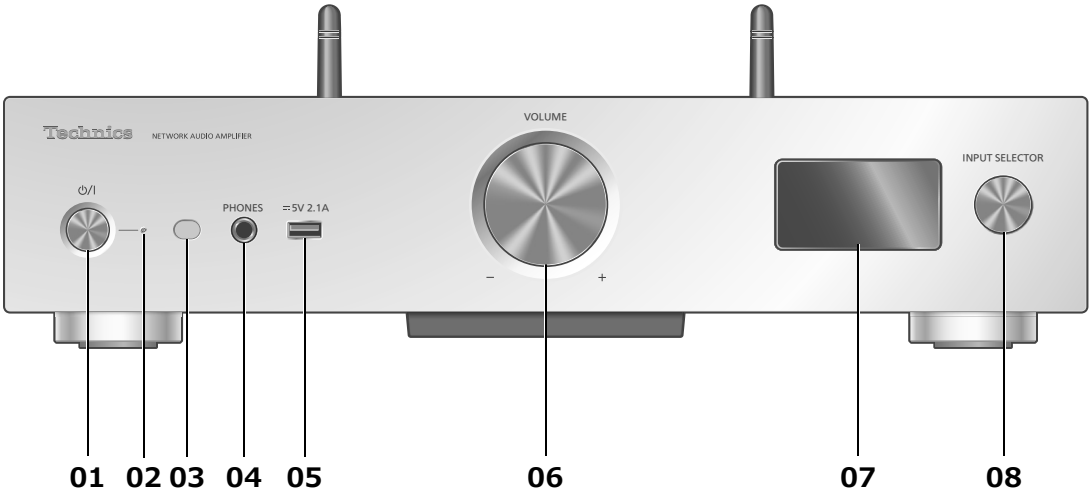
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

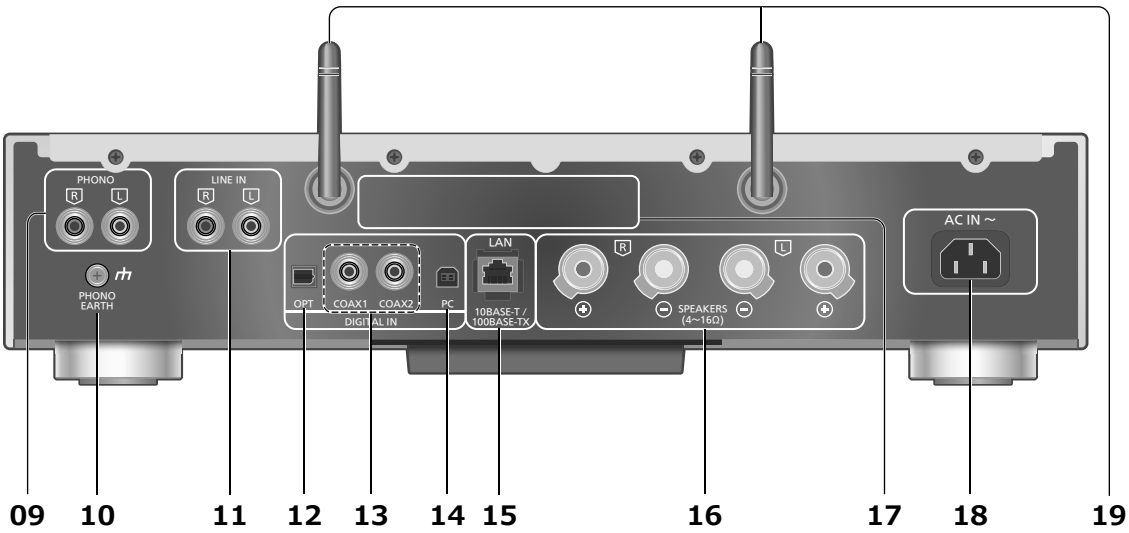
## 廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。
（「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」⇒ 40）

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

## 本体


Technics
NETWORK AUDIO AMPLIFIER
VOLUME
INPUT SELECTOR
PHONES
=5V 2.1A
01
02
03
04
05
06
07
08


PHONO
LINE IN
PHONO EARTH
OPT
COAX1
COAX2
DIGITAL IN
LAN
10BASE-T / 100BASE-TX
SPEAKERS (4~16Ω)
AC IN ~
09
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19

**01 電源スイッチ**

• 本体の状態（電源入 / 切）を切り換えます。

**02 電源インジケーター**

• 電源「入」時は、青色に点灯します。

• 電源「切」時は消灯します。ただし、以下の場合は赤色に点灯します。

–「Network Standby」を「On」または「Auto」に設定し、待機状態になっている（⇒ 36）

–iPhone/iPad/iPod を充電している（⇒ 29）

**03 リモコン受信部**

• 受信範囲：
正面…約 7 m 以内、左右…各約 30°

• 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

**04 ヘッドホン端子**

• ヘッドホンプラグを接続している場合、スピーカーから音声は出力されなくなります。

**05 USB 端子 ⎓ DC 5 V 2.1 A（USB-A）**

• USB デバイス、または iPhone/iPad/iPod を接続します。（⇒ 28、29）

**06 音量つまみ**

• 音量の範囲：
-- dB（最小）、-99.0 dB ～ 0 dB（最大）

• 消音状態の場合、つまみを回すと消音は解除されます。

**07 表示窓**

• 入力ソースや再生状態などを表示します。
詳細については、サポートサイトでもご確認いただけます。
jp.technics.com/support/

**08 入力切換つまみ**

• 左右に回して入力ソースを切り換えます。

**09 アナログ音声入力端子（PHONO）**（⇒ 34）

• MM カートリッジ対応です。

**10 PHONO EARTH 端子**（⇒ 34）

• レコードプレーヤーのアース線を接続します。

**11 アナログ音声入力端子（LINE IN）**（⇒ 34）

**12 光デジタル入力端子**（⇒ 32）

**13 同軸デジタル入力端子**（⇒ 32）

**14 PC 入力端子（USB-B）**（⇒ 33）

**15 LAN 端子**（⇒ 18）

**16 スピーカー出力端子**（⇒ 16）

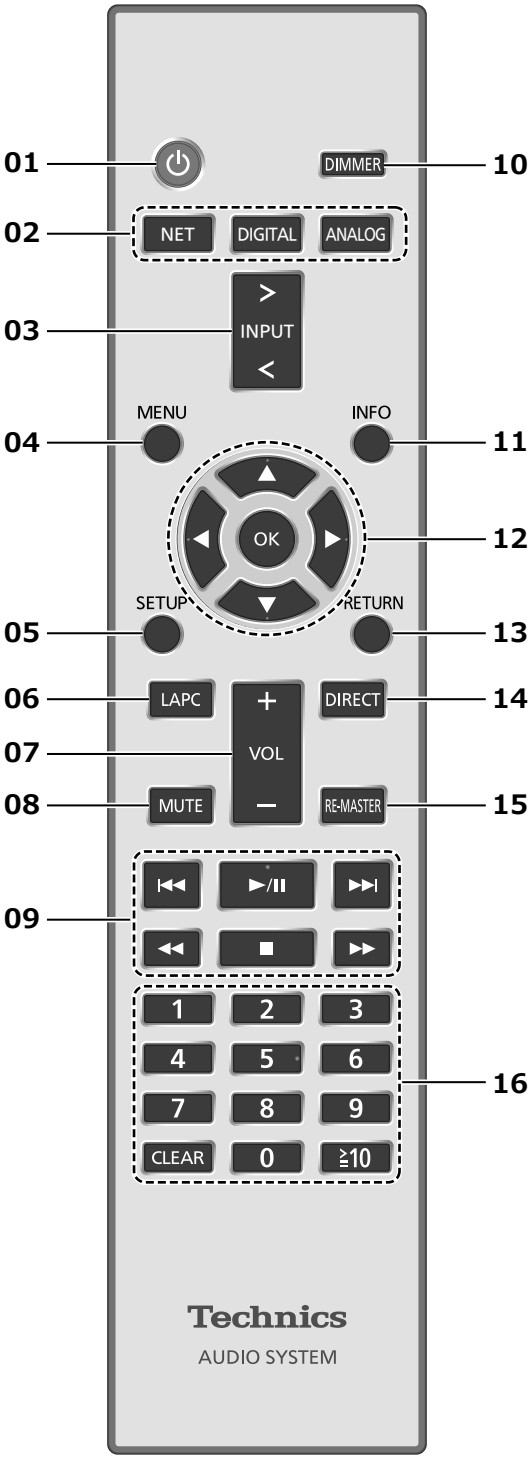
**17 定格銘板**

• 製品品番は定格銘板内に記載されています。

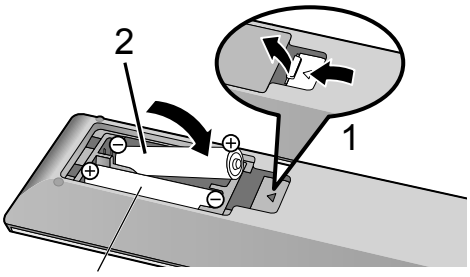
**18 AC IN 端子（〜）**（⇒ 17）

**19 アンテナ**（⇒ 19）

# リモコン




## リモコンの電池の入れかた




単 4 形乾電池（付属）

**お知らせ**

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本体のリモコン受信部（⇒ 12）に、まっすぐに向けて操作してください。
- 不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。
  ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

**01 [ ⏻ ] : 本機の状態（電源入 / 切）を切り換える**

**02 [NET] [DIGITAL] [ANALOG] : 本機の入力ソースを選ぶ**
（⇒ 24、28、29、30、31、32、33、34）
• 押すたびに切り換わります。

**03 [>INPUT<] : 本機の入力ソースを切り換える**
• 押すたびに切り換わります。

**04 [MENU] : メニュー画面に入る**
（⇒ 25、26、28、30、31）

**05 [SETUP] : 本機を設定する**
（⇒ 36）

**06 [LAPC] : スピーカー接続時のアンプの出力信号を測定し、出力を補正する**
（⇒ 39）

**07 [+VOL-] : 音量を調節する**
• 音量の範囲：
-- dB（最小）、-99.0 dB ～ 0 dB（最大）

**08 [MUTE] : 一時的に消音する**
• 解除するには、もう一度押す / 音量を調節する / 電源を切 / 入する

**09 再生操作ボタン**

**10 [DIMMER] : 表示窓やインジケーターなどの明るさを変える**
• 消灯にしているときは、本機を操作したときだけ、表示窓が数秒間点灯します。表示窓が消灯する前に「Display Off」が数秒間､表示されます。
• 押すたびに明るさが切り換わります。

**11 [INFO] : 情報を表示する**
• 再生状態の情報を表示します。押すごとに曲名、アーティスト名、アルバム名、ファイルの種類、サンプリング周波数、接続プロファイルなどが表示されます。（入力ソースごとに表示される内容は変わります）

**12 [ ▲ , ▼ , ◀ , ▶ ] [OK] : メニューや設定画面などで選んで決定する / 再生する曲を選ぶ**

**13 [RETURN] : 前の画面に戻る**

**14 [DIRECT] : ダイレクトモードを入 / 切する**

**15 [RE-MASTER] : リ . マスターを入 / 切する**

**16 数字ボタン : 番号を選ぶ**
• 2 桁の番号を選ぶには [ ≧ 10] を押してから数字ボタンを押す
（例 :「12」は [ ≧ 10] → [1] → [2]）
• 4 桁の番号を選ぶには [ ≧ 10] を 3 回押してから数字ボタンを押す
（例 :「1234」は [ ≧ 10] → [ ≧ 10] → [ ≧ 10] → [1] → [2] → [3] → [4]）
• [CLEAR] : 入力した数値を取り消す

## リモコンモードを切り換える

リモコンを操作すると、他の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変更してください。
• お買い上げ時の設定は「Mode 1」です。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Remote Control」を選び、[OK] を押す**
• 本体側の現在のリモコンモードが数秒間表示されます。

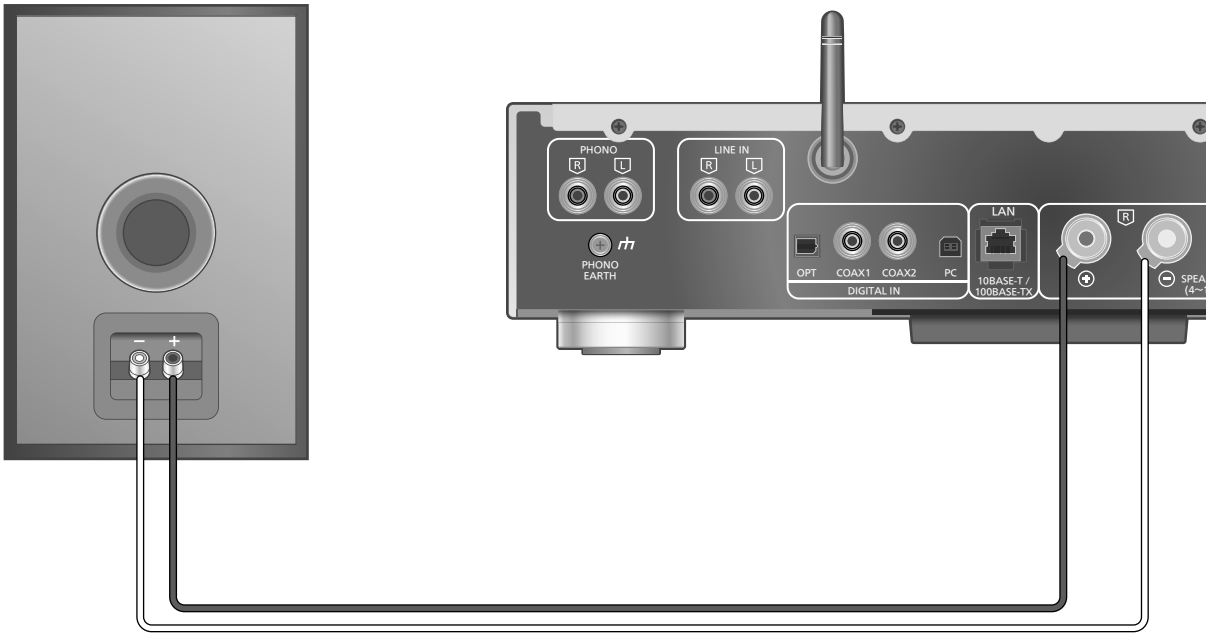
**3「Set Mode 1/2」が表示されたら、リモコン側のリモコンモードを変更する**
「Mode 1」にする場合 :
[1] を押しながら、[OK] を 4 秒以上押したままにする
「Mode 2」にする場合 :
[2] を押しながら、[OK] を 4 秒以上押したままにする

**4 リモコンを本体に向けて、[OK] を 4 秒以上押して、本体側のリモコンモードを変更する**
• 完了すると、設定されたリモコンモードが表示窓に数秒間表示されます。

**■ リモコンが働かないとき**
リモコンが働かないときは、表示窓に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください（上記手順 3）。
•「U30 REM 1」と表示された場合は「Mode 1」に、「U30 REM 2」と表示された場合は「Mode 2」に変更してください。

# スピーカー / 電源コードを接続する

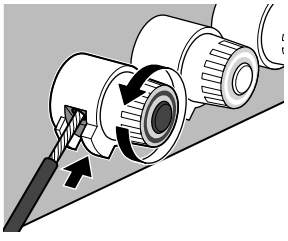
- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- 最適な音声出力を得るためにアンプの出力信号測定や出力補正を行うことができます。（⇒ 39）



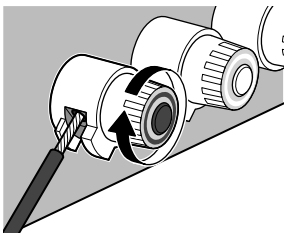

スピーカーコード（市販品）

## スピーカーの接続

**1 つまみを回してゆるめ、穴に芯線を差し込む**

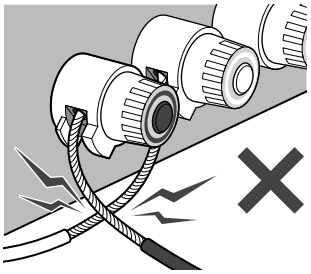


**2 つまみを締める**



**お願い**

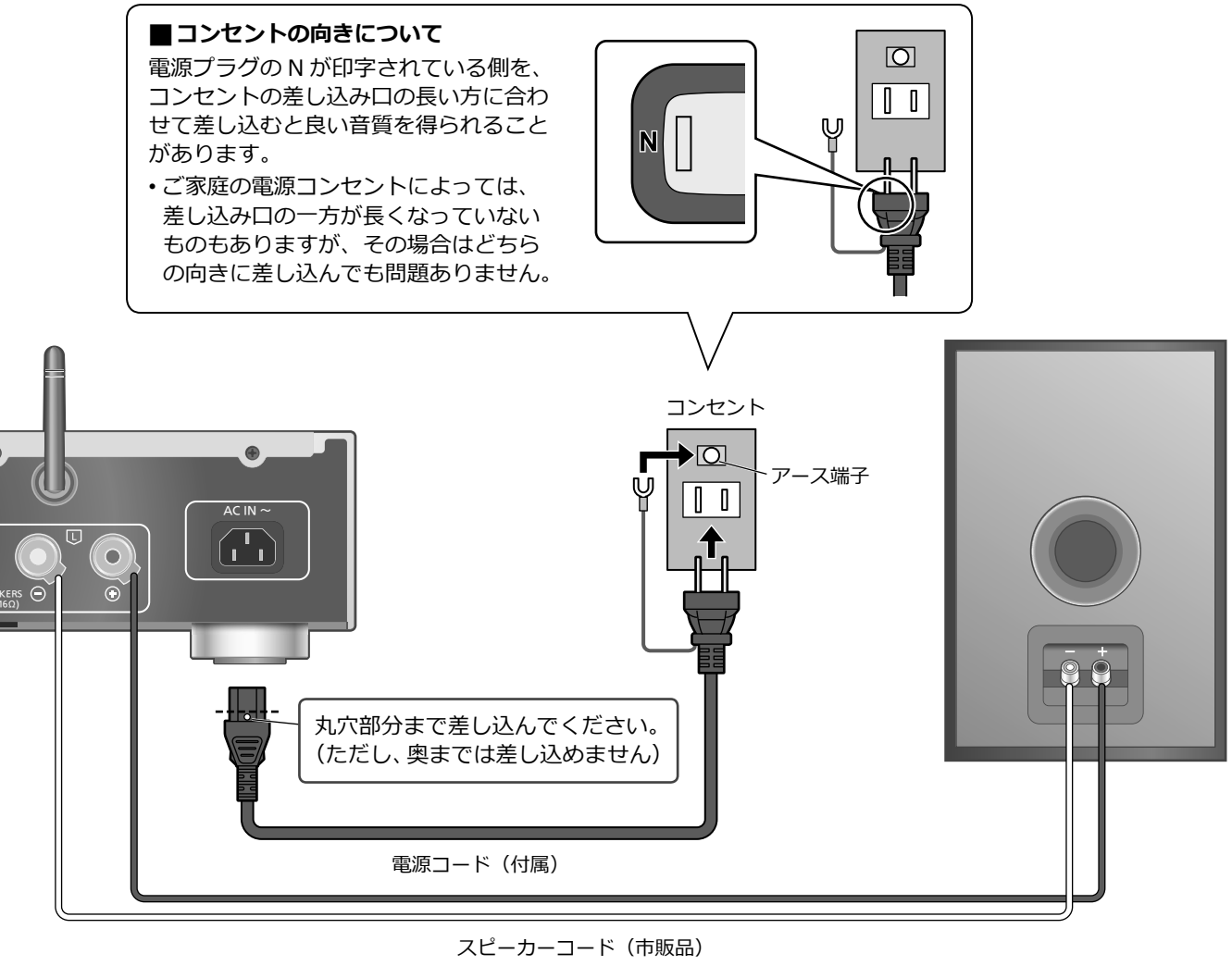
- スピーカーコードの先端が端子に確実に接続されているか、コードを軽く引いて確認してください。
- スピーカーコードをショートさせないでください。アンプの回路が破損するおそれがあります。



- 端子への接続は＋、－を正しく接続してください。間違って接続した場合、正常なステレオ効果を得られなかったり、故障の原因となることがあります。

**お知らせ**

- スピーカーに添付の取扱説明書をご覧ください。




## 電源コードの接続

**電源コードはすべての接続が終わった後、接続してください。**

• 電源を入れ、「Wi-Fi Setup」が表示された場合、無線 LAN 接続設定をしないときは「Off」を選んで [OK] を押してください。無線 LAN 接続設定をするときは「On」を選んで [OK] を押してください。（⇒ 19）

**お願い**

• 電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。
• アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

**お知らせ**

• 本体の電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。
本体の電源「切」状態でも、電力を消費しています。（電源「切」時の消費電力 ⇒ 48）

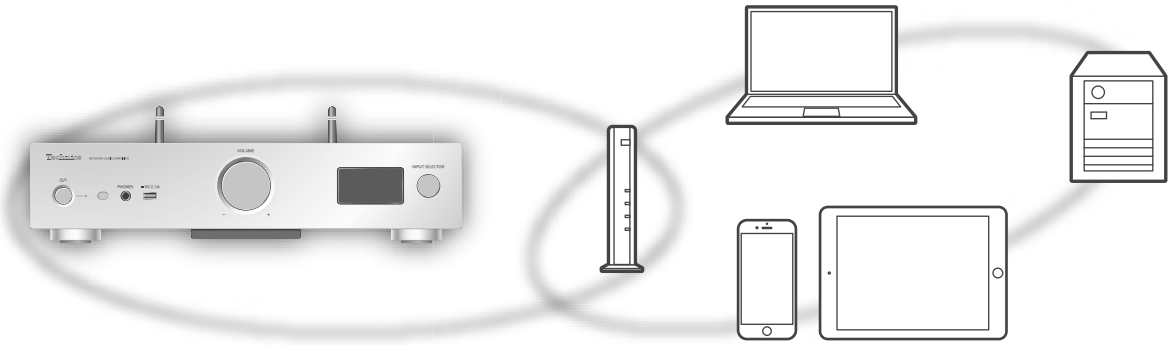
## 音声出力を補正する（LAPC）

スピーカーに合わせて最適な音声出力に調整します。

• 「Wi-Fi Setup」で「Off」を選んだ場合は、その後すぐに音声出力補正を行うことができます。（⇒ 39）
• 無線 LAN 接続設定をするときは、「Wi-Fi Setup」で接続設定が終わった後に、音声出力の補正を行ってください。（⇒ 39）

# ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することにより、AirPlay や DLNA 機能を利用して iOS 機器（iPhone/iPad/iPod）、Android™ 機器やパソコン（Mac/Windows）、NAS（ネットワーク・アタッチト・ストレージ）などにある音楽をお楽しみいただけます。（⇒ 24、26）
AirPlay や DLNA 機能をご利用になるには、本機と iOS 機器、Android 機器やパソコンなどが、ブロードバンドルーターを通じて同じネットワークに接続されている必要があります。

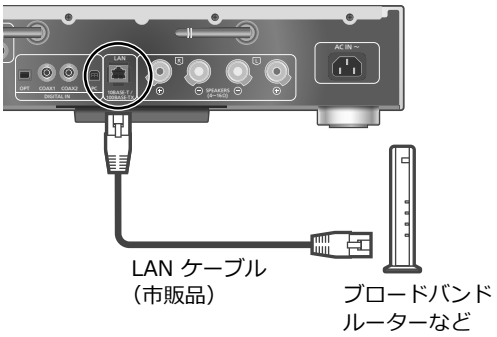


本機は、ブロードバンドルーターと有線 LAN または無線 LAN（Wi-Fi®）で接続することができます。ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN をお勧めします。

**お知らせ**

- 電源を入れた直後にネットワークの設定を行うと開始までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。
  - ファームウェアの更新については「ファームウェアを更新する」(⇒ 44) をご覧ください。
  - ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。
    jp.technics.com/support/firmware/

## 有線 LAN 接続




**1 本機の電源コードを抜く**

**2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する**

**3 本機に電源コードを接続する（⇒ 17）**

**4 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

- 表示窓に有線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

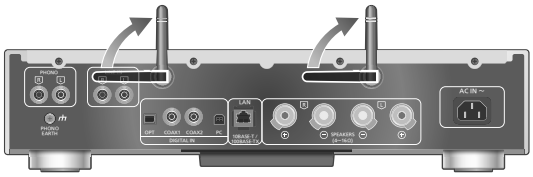
**お知らせ**

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をお勧めします。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルを取り外すと、ネットワーク設定が初期化されます。その場合は、ネットワーク設定をやり直してください。
- LAN ケーブルを接続して電源を切 / 入すると、Wi-Fi 接続が無効になる場合があります。

## 無線 LAN 接続

**■準備する**

① 本機の電源コードを抜く
② LAN ケーブルを取り外す
③ 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く
④ 本機背面のアンテナを垂直に立てる



⑤ 本機に電源コードを接続する（⇒ 17）

**お願い**

- アンテナに無理な力を加えないでください。
  また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

**お知らせ**

- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
- 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [ ■ ] を押すか、電源を切ってください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます（⇒ 48）。ネットワークへの接続は、IEEE 802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。

**■ネットワークの接続設定をはじめてするとき**

**1 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**
- 「Wi-Fi Setup」が表示されます。

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「On」を選び、[OK] を押す（Wi-Fi 機能が有効になります）**
- 「WAC Mode for iOS」が点滅し、WAC Mode の接続設定が自動的に始まります。

**3**（「WAC Mode for iOS」で接続する場合）
**20 ページ（WAC（Wireless Accessory Configuration）Mode を使って接続する）の手順 2 に進む**
（その他の方法で接続する場合）
**接続方法を選ぶ（右記）**

**お知らせ**

- Wi-Fi 機能の設定を途中で中止し、その後に本機の電源を切 / 入すると、再度「Wi-Fi Setup」が表示されます。設定を行うか、「Off」を選ぶと以降は表示されません。

**■接続方法を選ぶ**

iPhone/iPad/iPod を使っていますか？
- **はい**
  （iOS 7.0 以降の場合）
  **WAC（Wireless Accessory Configuration）Mode を使って接続する（⇒ 20）**
  （iOS 5.0 以降の場合）
  **iOS 機器を接続して設定する（⇒ 21）**
- **いいえ**

お使いの無線ブロードバンドルーターは WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応していますか？
- **はい**
  （WPS プッシュボタンに対応の場合）
  **WPS プッシュボタンで接続する（⇒ 20）**
  （WPS PIN コードに対応の場合）
  **WPS PIN コード方式で接続する（⇒ 21）**
- **いいえ**

Android 機器を使っていますか？
- **はい**
  **「Technics Music App」を使って接続する（⇒ 22）**
- **いいえ**

**インターネットブラウザを使って接続する（⇒ 22）**

**■設定メニューからネットワークの接続設定をするとき**

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Network」を選び、[OK] を押す**
- 「Wi-Fi」画面が表示されたら、[OK] を押します。

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「On」を選び、[OK] を押す（Wi-Fi 機能が有効になります）**

**4 接続方法を選ぶ（上記）**

# ネットワークに接続する（続き）

### WAC（Wireless Accessory Configuration）Mode を使って接続する
「WAC Mode for iOS」

iOS 機器から Wi-Fi 設定情報を本機に送ることで、簡単に無線 LAN 接続することができます。

- 対応機器：
  iOS 7.0 以降を搭載した iPhone/iPad/iPod touch
  OS X 10.9 以降で AirMac Utility 6.3.1 以降を搭載した Mac
- iOS 機器をご家庭でお使いの無線ネットワークに事前に接続しておいてください。
- 説明には iPhone を使用しています。

**1 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「WAC Mode for iOS」を選び、[OK] を押す**
- 「Setting」が表示されます。

**2 iPhone の「設定」から Wi-Fi 設定画面を開く**

**3 iPhone の「新しい AIRPLAY スピーカーを設定 ...」から「Technics SU-G30 ******」を選ぶ**
- 「******」は機器に固有の番号を表示します。

**4 iPhone の「AirPlay 設定」で設定情報を確認する**
- 初期のスピーカー名は「Technics SU-G30 ******」と表示されます。スピーカー名を変更する場合は、新しい名前を入力してください。本機との接続が完了したあとでも、名前を変更することができます。（⇒ 23）
- 「スピーカーのパスワード」から本機と接続するときのパスワードを設定することができます。（設定したパスワードはインターネットブラウザを使ってパスワードを変更するときに必要になります。）

**5 iPhone の「次へ」を押して設定を完了する**
- 「Linking」が点滅します。
- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください（⇒ 19）。

**6 リモコンの [OK] を押して接続設定を終了する**
- 表示窓に無線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

### WPS プッシュボタンで接続する
「WPS Push」

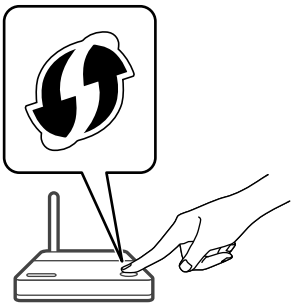
お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、WPS ボタンを押して本機と無線 LAN 接続することができます。

- WPS（Wi-Fi Protected Setup™）方式に対応している無線ブロードバンドルーターには WPS マークがあります。

**1 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「WPS Push」を選び、[OK] を押す**
- 「WPS」が点滅します。2 分以内に手順 2 を行ってください。

**2「WPS」表示後、無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押す**

例：WPS マーク



- 「Linking」が点滅します。
- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください（⇒ 19）。

**3 リモコンの [OK] を押して接続設定を終了する**
- 表示窓に無線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

### WPS PIN コード方式で接続する
「WPS PIN」

お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、PIN コードを入力することで本機と無線 LAN 接続することができます。

- ルーターの説明書などで、PIN コードの入力方法を調べておいてください。

**1 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「WPS PIN」を選び、[OK] を押す**

- 8 桁の PIN コードが表示されます。2 分以内に手順 2 を行ってください。

**2 パソコンなどからルーターに接続し、手順 1 で表示された PIN コードを入力する**

- 「Linking」が点滅します。
- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください（⇒ 19）。

**3 リモコンの [OK] を押して接続設定を終了する**

- 表示窓に無線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

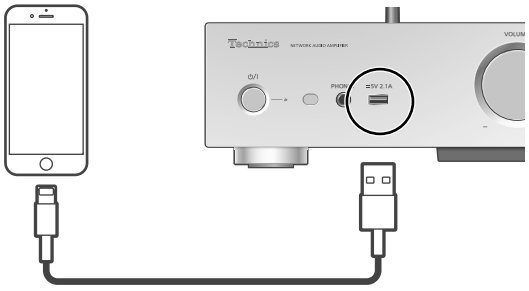
**お知らせ**

- 無線ブロードバンドルーターによっては他の無線機器の接続が一時的に切断されることがあります。
- 無線ブロードバンドルーターの使いかたなど詳細については、ルーターの説明書をご覧ください。

### iOS 機器を接続して設定する
「With iPod」

iPhone/iPad/iPod touch を USB ケーブルで本機に接続し、Wi-Fi 設定情報を送ることで無線 LAN 接続することができます。

- 対応機器：
  iOS 5.0 以降を搭載した iPhone/iPad/iPod touch
- iOS 機器をご家庭でお使いの無線ネットワークに事前に接続しておいてください。
- 説明には iPhone を使用しています。



USB ケーブル
（iPhone/iPad/iPod に付属）

**1 iPhone を本機に接続する**

- 本機と iPhone/iPad/iPod を接続するときは、iPhone/iPad/iPod に付属の USB ケーブルを使用してください。
- iPhone はロックを解除してから接続してください。

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「With iPod」を選び、[OK] を押す**

- 「Connecting Wi-Fi」が点滅します。

**3 iPhone に表示されるメッセージを確認して、ネットワーク接続設定の共有を許可する**

- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください（⇒ 19）。

**4 リモコンの [OK] を押して接続設定を終了する**

- 表示窓に無線 LAN 接続を示す「 」が表示されます。

# ネットワークに接続する（続き）

## 「Technics Music App」を使って接続する
「Setup from Browser」

専用アプリケーション「Technics Music App」（無料）をインストールした Android 機器で、無線 LAN 接続することができます。

- Android 機器をお使いの場合は、Google Play™ でダウンロードいただけます。
- ご家庭でお使いの無線ネットワークのパスワードを、事前に確認しておいてください。
- Android 機器をご家庭でお使いの無線ネットワークに、事前に接続しておいてください。

**1 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Setup from Browser」を選び、[OK] を押す**
- 「Setting」が表示されます。

**2 Android 機器で「Technics Music App」を起動する**

**3 「⚙」をタップし、Wi-Fi 設定画面を開く**

**4 Android 機器が接続している無線ネットワークのパスワードを入力する**

**5 Android 機器の「次へ」を選び、ネットワーク設定を終了する**
- 「Linking」が点滅します。
- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください（⇒ 19）。
- 機器によっては接続完了画面が表示されないことがあります。

**6 Android 機器がご家庭でお使いの無線ネットワークに接続されていることを確認する**

**7 リモコンの [OK] を押して接続設定を終了する**
- 表示窓に無線 LAN 接続を示す「📶」が表示されます。

## インターネットブラウザを使って接続する
「Setup from Browser」

- iOS 7.0 未満の iOS 機器、Android 機器、パソコンなどから直接本機に接続し、ネットワーク名（SSID※）やパスワードなどのネットワーク設定を行います。
  ※ SSID：無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。
- 説明には Android 機器を使用しています。

**1 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Setup from Browser」を選び、[OK] を押す**
- 「Setting」が表示されます。

**2 Android 機器の「設定」の Wi-Fi 設定画面から、「00 Setup ******」を選び、本機と接続する**
- 「******」は機器に固有の番号を表示します。

**3 Android 機器でインターネットブラウザを開き、アドレス欄に「http://192.168.1.12/」を入力する**
- お使いの機器のインターネットブラウザで設定してください。
  - iOS 機器 /Mac：Safari
  - Android 機器：Google Chrome™
  - Windows：Internet Explorer

**4 「無線ネットワークの検索」を選ぶ**

**5 ご家庭でお使いの無線ネットワークの SSID を選び、パスワードを入力する**

**6 「接続」を選び、ネットワーク設定を終了する**
- 「Linking」が点滅します。
- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください（⇒ 19）。
- 機器によっては接続完了画面が表示されないことがあります。

**7 手順 5 で設定した Android 機器の接続先が元の接続先（ご利用中の SSID）に戻っているか確認する**

**8 リモコンの [OK] を押して接続設定を終了する**
- 表示窓に無線 LAN 接続を示す「📶」が表示されます。

**お知らせ**

- ブラウザの設定で、JavaScript と Cookie を有効にしてください。
- パスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

## 本機の名称の変更「Friendly Name」

AirPlay や DLNA 機能使用時に表示される本機の名称（Friendly Name）を変更できます。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Network」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Friendly Name」を選び、[OK] を押す**

- 現在の本機の名称（Friendly Name）が表示されます。[OK] を押すと入力画面に切り換わります。

**4 [ ▲ ][ ▼ ][ ◀ ][ ▶ ] を押して、Friendly Name を入力する**

- 半角英数字のみ使用できます。
- Friendly Name の最後の文字を選択時に [ ▶ ] を押すと「A」を追加できます。
- [CLEAR] を押すと 1 文字消去できます。
- [ ≧ 10] を押すと「A」を挿入できます。
- お買い上げ時は「Technics SU-G30 ******」と表示されます。「******」は機器に固有の番号を表示します。

**5 [OK] を押す**

**6 [RETURN] を数回押して、設定を終了する**

## MAC アドレスを調べる「MAC Address」

本機の MAC アドレスを表示します。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Network」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「MAC Address」を選び、[OK] を押す**

- 現在の本機の MAC アドレスが表示されます。

**4 [RETURN] を押して、表示を終了する**

## 詳細なネットワーク設定を行う（必要な場合のみ）

お使いのネットワークが、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS などに特別な設定を行っている場合、それぞれを設定できます。（設定が必要な場合は、DHCP を無効にしてください。）

- 設定中は音楽を再生しないでください。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Network」を選び、[OK] を押す**

**3 設定画面の各項目を入力する**

**4 [OK] を押して設定を保存する**

**5 [RETURN] を押して設定を終了する**

**6 [ ⏻ ] を押して本機を電源「切」状態にする**

- 「Please Wait」の表示が消えるまでお待ちください。

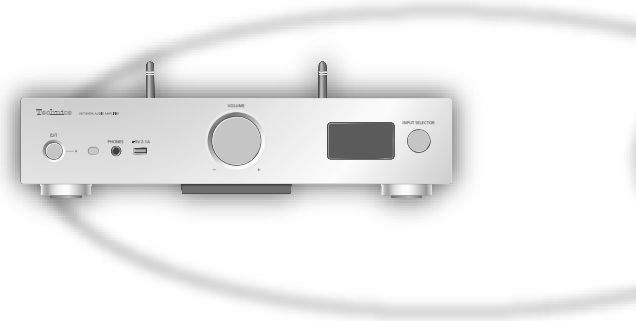
**7 ネットワークの接続を行う（⇒ 18）**

# DLNA 機器の音楽を再生する

DLNA に対応したパソコンや NAS（ネットワーク・アタッチト・ストレージ）などの DLNA サーバー※に保存した音楽を DLNA の機能を使って再生することができます。
※音楽が記録された機器をサーバーといいます。

**■準備する**

- ネットワークに接続する。（⇒ 18）
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。
- Windows Media® Player をご使用の場合
  - –Windows Media Player11 または 12 のライブラリやスマートフォンなどにコンテンツやフォルダを追加する。
  - –Windows Media Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。
  - –Windows Media Player は、ストリーミング再生をするための事前の設定が必要です。



## 本機から操作して DLNA サーバーのコンテンツを再生する

DLNA サーバーに保存された音楽を、本機（DMP/ デジタルメディアプレーヤー）から操作して再生することができます。

- 再生可能なフォーマットについて（⇒ 49）

**1 [NET] を押して入力ソースを「DMP」に切り換える**

- サーバー選択画面が表示されます。
- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して DLNA サーバーを選び、[OK] を押す**

- フォルダ / コンテンツ選択画面が表示されます。さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
- サーバーの仕様によって、異なった順番で表示されることがあります。

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して再生するコンテンツを選び、[OK] を押す**

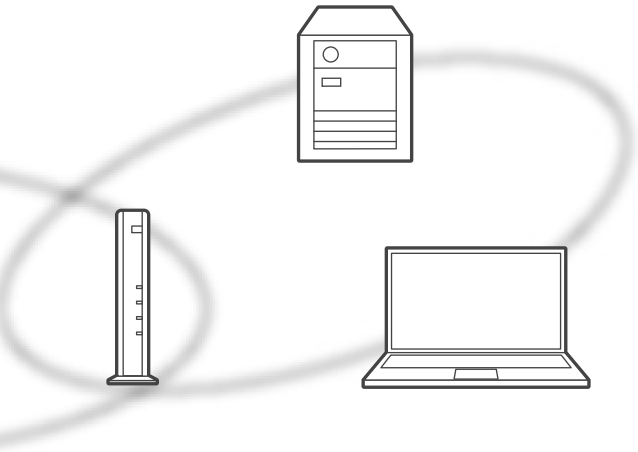
**お知らせ**

- コンテンツ追加直後やサーバーの状態によっては、接続しているサーバーや保存されたコンテンツが表示されない、または誤って表示されることがあります。そのときは、しばらく待ってから、手順 1 からやり直してください。
  また、接続機器の説明書もお読みください。

## 再生中の操作

| | |
|---|---|
| **停止** | ■ |
| **一時停止** | ►/II<br>• 再開するには [ ►/II ] を押す |
| **曲を飛ばす（スキップ）** | I◄◄ ►►I |
| **早送り・早戻し（サーチ）** | ◄◄ ►► |
| **再生残り時間などを見る** | [INFO]<br>• 押すたびに内容が切り換わる |

- ファイル形式によっては、機能しない場合があります。



## くり返し聴く（リピートプレイ）

**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Repeat」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して項目を選び、[OK] を押す**

**1-Track :**
1 曲のみリピート再生（「1 ↻」が表示されます）

**All :**
フォルダ内の全曲をリピート再生（「↻」が表示されます）

- 入力ソースを「USB」（⇒ 28）に切り換えても、設定内容は保持されます。

## 順不同で聴く（ランダムリピートプレイ）

**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Random」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「On」を選び、[OK] を押す**

- フォルダ内の曲をランダムに繰り返し再生します。（「RND」と「↻」が表示されます）
- ランダム再生中は前の曲にスキップできません。
- 全曲を再生するまでに、一度再生した曲が繰り返し再生される場合があります。
- 入力ソースを「USB」（⇒ 28）に切り換えても、設定内容は保持されます。

## 専用アプリ「Technics Music App」を使って操作する

お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリケーション「Technics Music App」（無料）をインストールすると、様々な機能を使って本機を操作することができます。
詳しくは下記をご覧ください。
jp.technics.com/support/

## DMC から操作して DLNA サーバーのコンテンツを再生する

DMC（デジタルメディアコントローラー）対応機器を操作して、DLNA サーバーの音楽を本機（DMR/ デジタルメディアレンダラー）から再生できます。

**1 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

**2 DMC 対応機器を操作する**

- 初期設定の機器（レンダラー）名は「Technics SU-G30 ****** ※1, 2」と表示されます。
- 接続機器の設定および操作方法については、機器の説明書をお読みください。

**お知らせ**

- 他の入力ソースで再生中のときでも、DMC から操作すると、DLNA サーバーの再生が優先されます。
- DLNA 接続に関する最新のサポート情報は下記のサイトをご覧ください。
  jp.technics.com/support/
- コンテンツや接続している DLNA 機器によっては、一部の操作ができなかったり、再生できない場合があります。
- すべての DMC アプリの動作を保証するわけではありません。「Technics Music App」のご使用をお勧めします。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。
※ 2「Friendly Name」から、機器の名前を変更できます。（⇒ 23）

# AirPlay で音楽を再生する

iOS 機器などに保存した音楽を、AirPlay の機能を使って再生することができます。
- AirPlay は、iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した PC で動作します。

**■準備する**

- ネットワーク設定をする。(⇒ 18)
- iOS 機器やパソコンを、ご家庭でお使いのネットワークに接続する。

**1** (iOS 機器 (iPhone、iPad、iPod touch など) のとき)
**「iPod」または「ミュージック」アプリを開く**

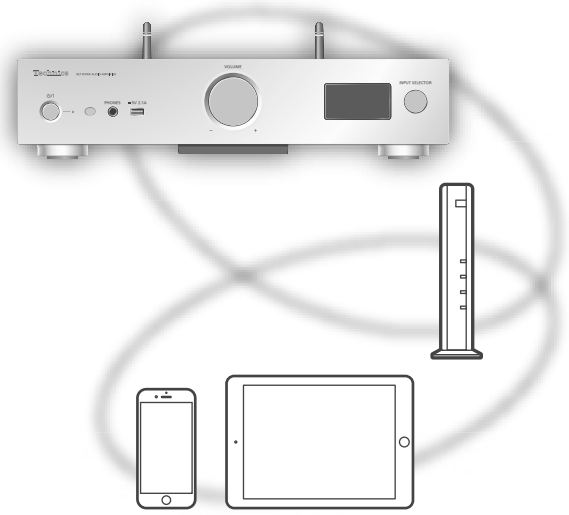
(パソコンのとき)
**「iTunes」を開く**

**2 AirPlay アイコン を選び、スピーカーを選ぶ**
- 初期設定のスピーカー名は「Technics SU-G30 ****** ※1, 2」と表示されます。

**3 音楽を再生する**

- 音を出す前に iOS 機器や iTunes の音量が適切か確かめてください。
- 初めてご使用になるときは iOS 機器や iTunes の音量を絞ってください。
- 再生開始後、実際に音声が出るまで少し時間がかかります。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。
※ 2「Friendly Name」から、機器の名前を変更できます。(⇒ 23)



## 再生中の操作

| | |
|---|---|
| **停止** | ■ |
| **一時停止** | ►/II<br>• 再開するには [ ►/II ] を押す |
| **曲を飛ばす (スキップ)** | I◄◄ ►►I |

- iOS 機器や iTunes でも操作することができます。

**お知らせ**
- iOS 機器や iTunes の音量を変えると、本機の音量も変わります。(iTunes をお使いのときは設定が必要です。)
- 他の入力ソースで再生中のときでも、AirPlay の再生が優先されます。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは手順 2 でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。
- iTunes で動画を再生しているときは、本機から AirPlay の再生ができないことがあります。

## くり返し聴く (リピートプレイ)

**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Repeat」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して設定し、[OK] を押す**

- 設定内容は iOS 機器や iTunes の画面で確認してください。
- iOS 機器や iTunes からも設定できます。

## 順不同で聴く (シャッフル)

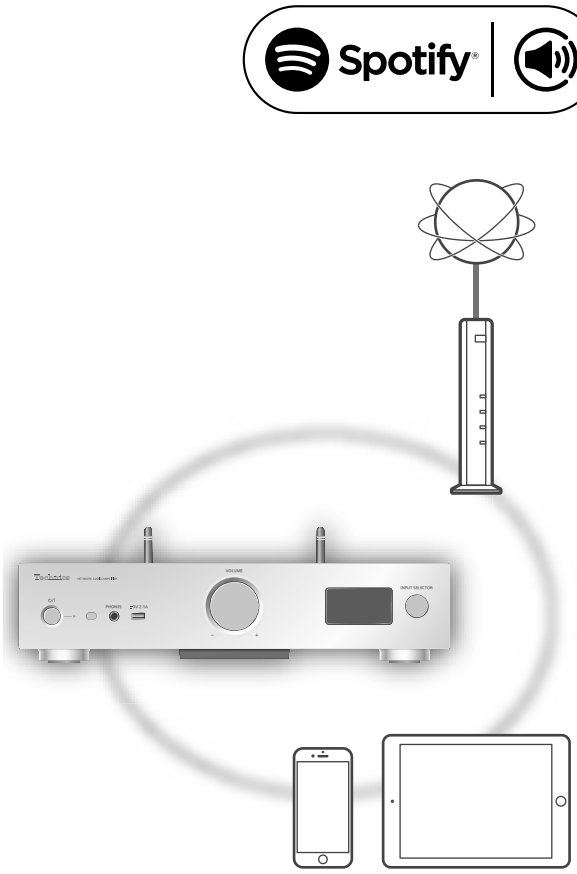
**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Shuffle」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して設定し、[OK] を押す**

- 設定内容は iOS 機器や iTunes の画面で確認してください。
- iOS 機器や iTunes からも設定できます。

本機は音楽ストリーミングサービス（Spotify）に対応しています。



**■準備する**

- Spotify Premium の登録が必要です。詳しくは下記のサイトをご確認ください。
  www.spotify.com/jp/connect/
- ネットワーク設定をする。（⇒ 18）
  （インターネットに繋がったネットワークに接続してください）
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

**1 お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）から「Spotify」アプリを開き、再生する音楽を探す**

**2 楽曲のカバーアートを選択し、再生画面を開く**

**3 アイコン「」を選択する**

**4 出力先のスピーカーとして本機を選択する**

**お知らせ**

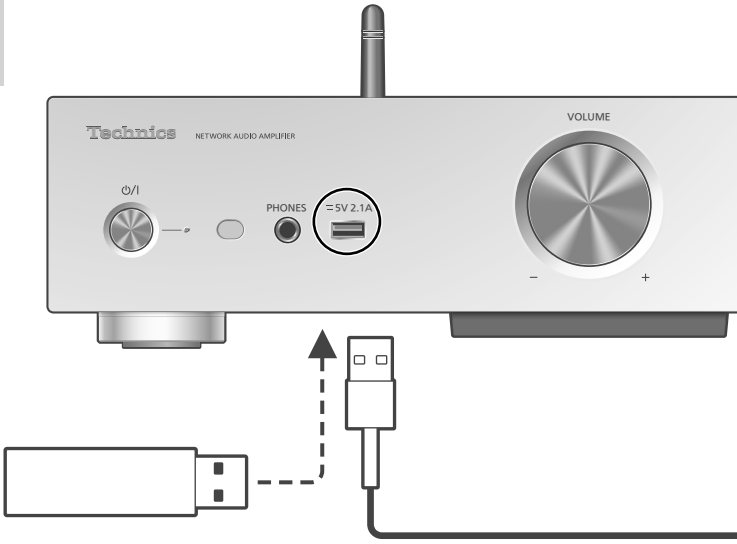
- 初期設定のスピーカー名は「Technics SU-G30 ****** ※1, 2」と表示されます。
- ご利用には登録が必要です。
- Spotify Premium には利用料がかかります。
- サービス内容やアイコン、仕様は予告なく変更・停止する場合があります。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。

※ 2「Friendly Name」から、機器の名前を変更できます。（⇒ 23）

# USB デバイスの音楽を再生する

USB デバイスを本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。
- 本機で再生できる USB デバイスについては、「対応メディアについて」（⇒ 45）をご覧ください。




USB デバイス

**1 USB デバイスを本機に接続する**

**2 [DIGITAL] を押して入力ソースを「USB」に切り換える**
- フォルダ / コンテンツ選択画面が表示されます。
- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押してコンテンツを選び、[OK] を押す**
- さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
- [RETURN] を押すと、1 つ前の階層に戻ります。

## 再生中の操作

| | |
|---|---|
| **停止** | ■ |
| **一時停止** | ►/II<br>• 再開するには [ ►/II ] を押す |
| **曲を飛ばす（スキップ）** | I◄◄ ►►I |
| **早送り・早戻し（サーチ）** | ◄◄ ►► |
| **再生残り時間などを見る** | [INFO]<br>• 押すたびに内容が切り換わる |

- メディアやコンテンツによっては、機能しない場合があります。

## くり返し聴く（リピートプレイ）

**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Repeat」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して項目を選び、[OK] を押す**

**1-Track :**
1 曲のみリピート再生（「1 ↻」が表示されます）

**All :**
フォルダ内の全曲をリピート再生（「↻」が表示されます）

- 入力ソースを「DMP」（⇒ 25）に切り換えても、設定内容は保持されます。

## 順不同で聴く（ランダムリピートプレイ）

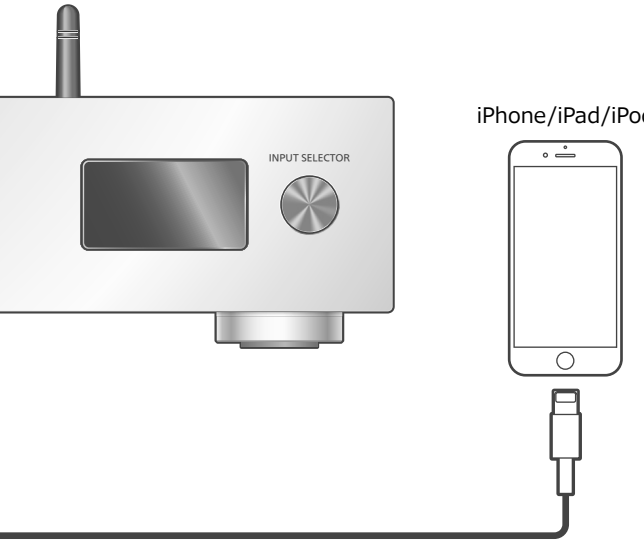
**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Random」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「On」を選び、[OK] を押す**

- フォルダ内の曲をランダムに繰り返し再生します。（「RND」と「↻」が表示されます）
- ランダム再生中は前の曲にスキップできません。
- 全曲を再生するまでに、一度再生した曲が繰り返し再生される場合があります。
- 入力ソースを「DMP」（⇒ 25）に切り換えても、設定内容は保持されます。

# iPhone/iPad/iPod の音楽を再生する




USB ケーブル
（iPhone/iPad/iPod に付属）

対応する iPhone/iPad/iPod を USB ケーブル※で本機に接続して、機器の音楽を再生したり、充電することができます。
- 本機に対応した機種については、「対応メディアについて」（⇒ 45）をご覧ください。

※ iPhone/iPad/iPod に付属の USB ケーブルを使用してください。

**1 iPhone/iPad/iPod を本機に接続する**

**2 [DIGITAL] を押して入力ソースを「USB」に切り換える**
- USB 端子（USB-A）に iPhone/iPad/iPod が接続されている場合、表示が「iPod_Port」に切り換わります。
- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**3 iPhone/iPad/iPod を操作して音楽を再生する**

## 再生中の操作

| | |
|---|---|
| **停止** | ■ |
| **一時停止** | ►/II<br>• 再開するには [ ►/II ] を押す |
| **曲を飛ばす（スキップ）** | I◄◄ ►►I |
| **早送り・早戻し（サーチ）** | ◄◄ ►► |

- 「リピートプレイ」、「シャッフル」について（⇒ 26）

**お知らせ**
- 動作の表示は、iPhone/iPad/iPod の画面で確認できます。
- iPhone/iPad/iPod の機種またはそのバージョンによっては、機能しなかったり、動作や表示が通常と異なる場合があります。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
  詳しくは、下記のサイトをご確認ください。
  jp.technics.com/support/

## 充電する

iPhone/iPad/iPod を本機に接続すると、自動的に充電が始まります。
- iPhone/iPad/iPod を本機に接続時、本機が電源「切」状態では充電は始まりません。充電を行うときは、本機の電源を入れて、充電が始まったことを確認してから本機の電源を切ってください。
- 充電が完了したかどうかは、iPhone/iPad/iPod の画面でご確認ください。

**お知らせ**
- 電源「切」状態で充電しているときは、本機の表示窓に「iPod Charging」と表示されます。また、電源インジケーターが赤色に点灯します。
- iPhone/iPad/iPod の充電が一度完了すると、自然放電により電池が消耗しても追加充電されません。
- iPhone/iPad/iPod の電池が切れている状態で充電を行う場合は、本機の電源を入れて iPhone/iPad/iPod を接続し、iPhone/iPad/iPod の電源が入るまで本機の電源を切らないでください。

# Bluetooth® 機器の音楽を再生する

Bluetooth® に対応した機器を本機に登録して、機器の音楽を再生することができます。
• Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の説明書をお読みください。

**■登録・接続する**

• 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
• Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする。
• 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。(⇒ 31)

**1 [DIGITAL] を押して入力ソースを「Bluetooth」に切り換える**
• 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**2 [MENU] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Pairing」を選び、[OK] を押す**

**4 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す**
• 表示窓に「Pairing」と表示され、登録待機状態になります。

**5 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SU-G30」を選んで接続する**
• 接続された機器名が表示窓に表示されます。
•「SU-G30」が表示される前に MAC アドレス（例：6C:5A:B5:B3:1D:0F）が表示される場合があります。

**お知らせ**

• パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
• 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされるため、機器の登録が解除されることがあります。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

**■機器を再生する**

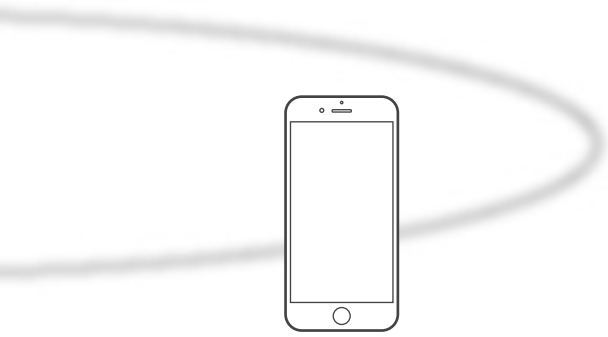
**1 [DIGITAL] を押して入力ソースを「Bluetooth」に切り換える**
• 表示窓に「Ready」と表示されます。
• 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SU-G30」を選んで接続する**
• 接続された機器名が表示窓に表示されます。

**3 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する**

**お知らせ**

• 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。



Bluetooth® 機器

## 通信モードを切り換える

**1 [DIGITAL] を押して入力ソースを「Bluetooth」に切り換える**

- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

**2 [MENU] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Link Mode」を選び、[OK] を押す**

**4 [ ▲ ][ ▼ ] を押してモードを選び、[OK] を押す**

**Mode1：**
通信の安定性を重視

**Mode2：**
音質を重視（お買い上げ時の設定）

**お知らせ**

- 音が途切れる場合は「Mode1」に切り換えてみてください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されなかったり、ノイズが発生する場合があります。その場合､本機の通信モードを「Mode1」に設定することで改善される場合があります。

## 再生中の操作

| | |
|---|---|
| **停止** | ■ |
| **一時停止** | ►/II<br>• 再開するには [ ►/II ] を押す |
| **曲を飛ばす（スキップ）** | I◄◄ ►►I |
| **早送り・早戻し（サーチ）** | ◄◄ ►► |

**お知らせ**

- 本機と Bluetooth® 機器を接続し、本機のリモコンで操作する場合、Bluetooth® 機器が AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）に対応している必要があります。お使いの機器やその状態によっては、操作できない場合があります。
- 動画コンテンツを再生する場合、本機の音声が Bluetooth® 機器の映像よりも遅れることがあります。

## 接続を解除する

**1 [MENU] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Disconnect?」を選び、[OK] を押す**

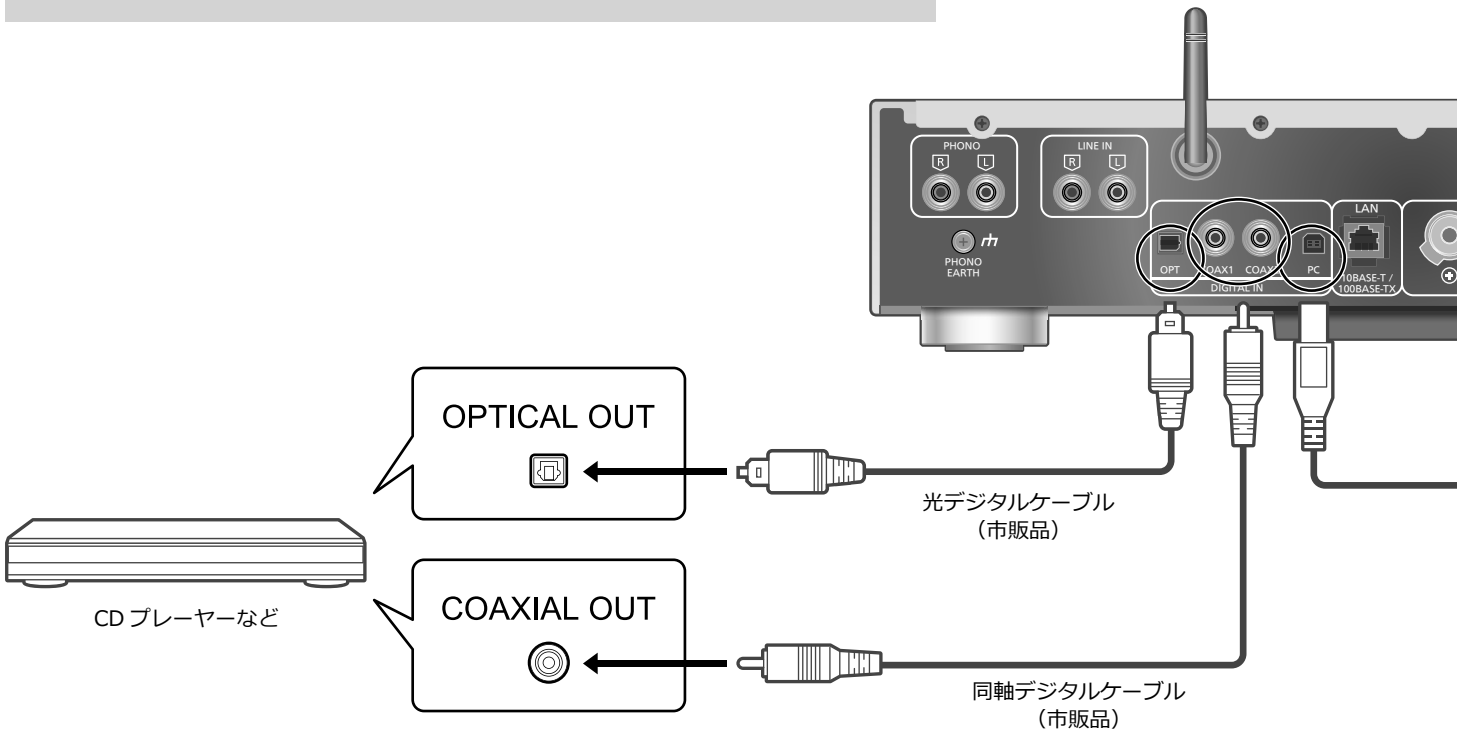
**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す**

**お知らせ**

- 「Bluetooth」以外の入力ソースが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

# デジタル出力機器の音楽を再生する

CD プレーヤー機器などを光デジタルケーブル（市販品）や同軸デジタルケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。




## 同軸デジタルケーブルで接続する

**1 本機の電源コードを抜く**

**2 CD プレーヤーなどを本機に接続する**

**3 本機と電源コードを接続する（⇒ 17）**

**4 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

**5 [DIGITAL] を押して入力ソースを「COAX1」または「COAX2」に切り換える**

- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**6 接続した機器側を操作して音楽を再生する**

**お知らせ**

- 本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。
  - −サンプリング周波数：
    同軸デジタル
    32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz
    光デジタル
    32、44.1、48、88.2、96 kHz
  - −量子化ビット数：
    16、24 bit

## 光デジタルケーブルで接続する

**1 本機の電源コードを抜く**

**2 CD プレーヤーなどを本機に接続する**

**3 本機と電源コードを接続する（⇒ 17）**

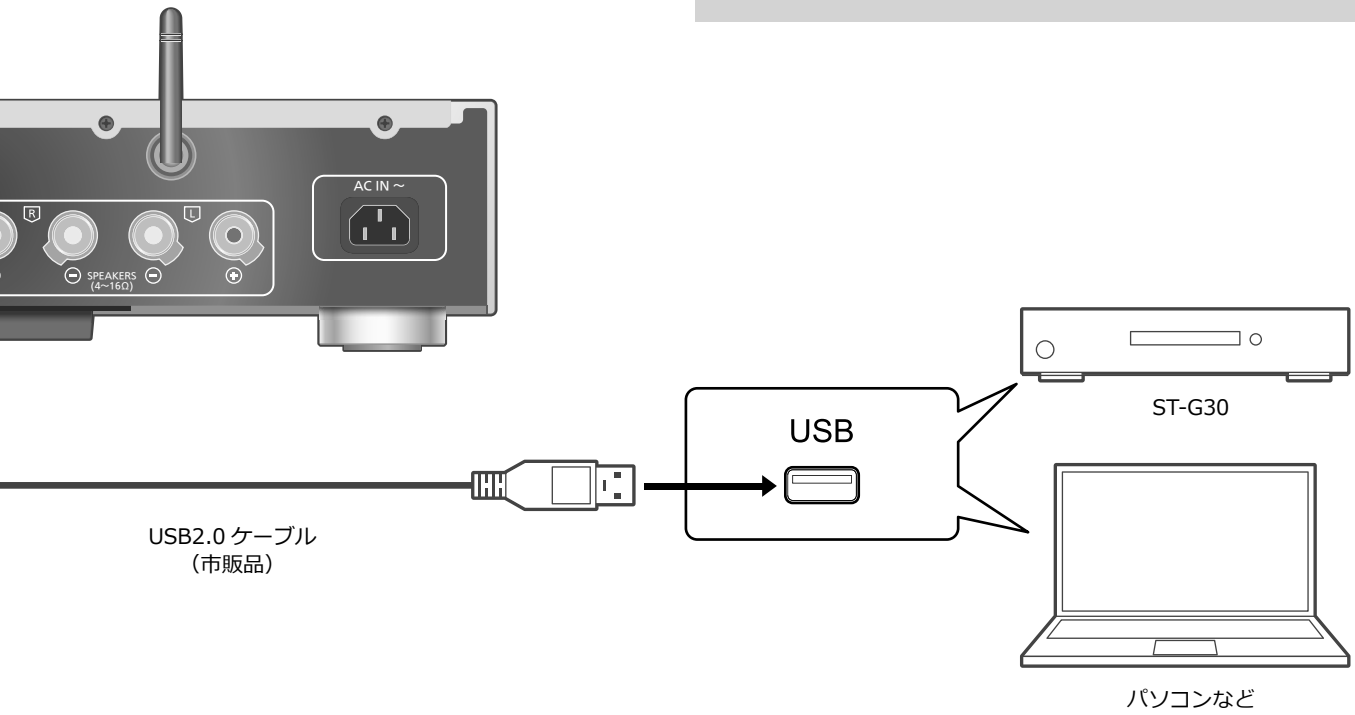
**4 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

**5 [DIGITAL] を押して入力ソースを「OPT」に切り換える**

- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**6 接続した機器側を操作して音楽を再生する**

パソコンなどを USB ケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。




**■準備する**

**パソコンと接続する場合、接続前に下記の操作を行ってください。**

- パソコンの推奨 OS については下記をご確認ください。（2015 年 12 月現在）
- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10
- OS X 10.7、10.8、10.9、10.10、10.11

① ご使用のパソコンに専用 USB ドライバーソフトを下記 URL からダウンロード・インストールする（Windows OS のみ）
jp.technics.com/support/

② ご使用のパソコンに専用アプリケーション「Technics Audio Player」（無料）を下記 URL からダウンロード・インストールする
jp.technics.com/support/

**1 本機の電源コードを抜く**

**2 パソコンなどを本機に接続する**

**3 本機と電源コードを接続する（⇒ 17）**

**4 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

**5 [DIGITAL] を押して入力ソースを「PC」に切り換える**

- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

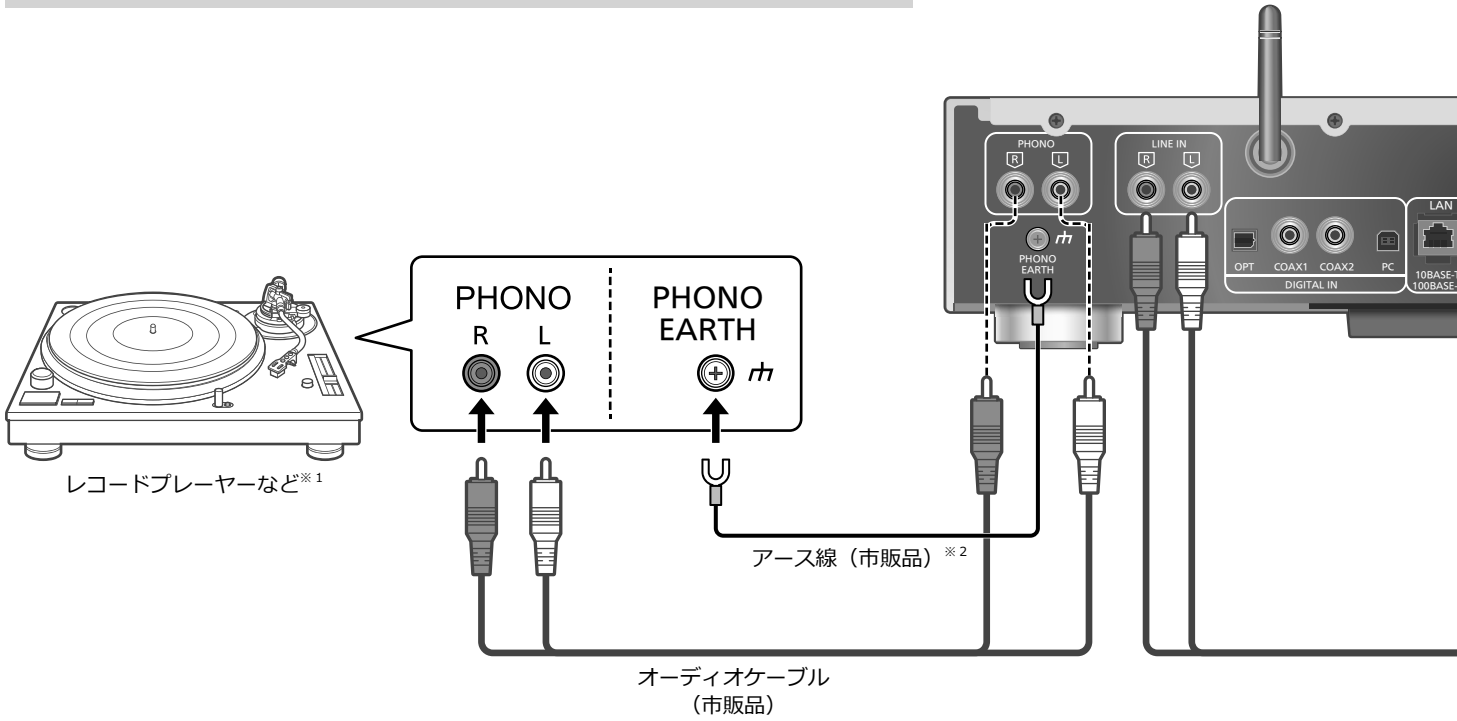
**6 接続したパソコンで専用アプリケーション「Technics Audio Player」（左記）を起動して、音楽を再生する**

**お知らせ**

- 再生可能なファイルについて（⇒ 49）

# アナログ出力機器の音楽を再生する

レコードプレーヤー機器などをアナログケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。




## アナログケーブルで接続する

**1 本機の電源コードを抜く**

**2 レコードプレーヤーなどを本機に接続する**

**3 本機と電源コードを接続する（⇒ 17）**

**4 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

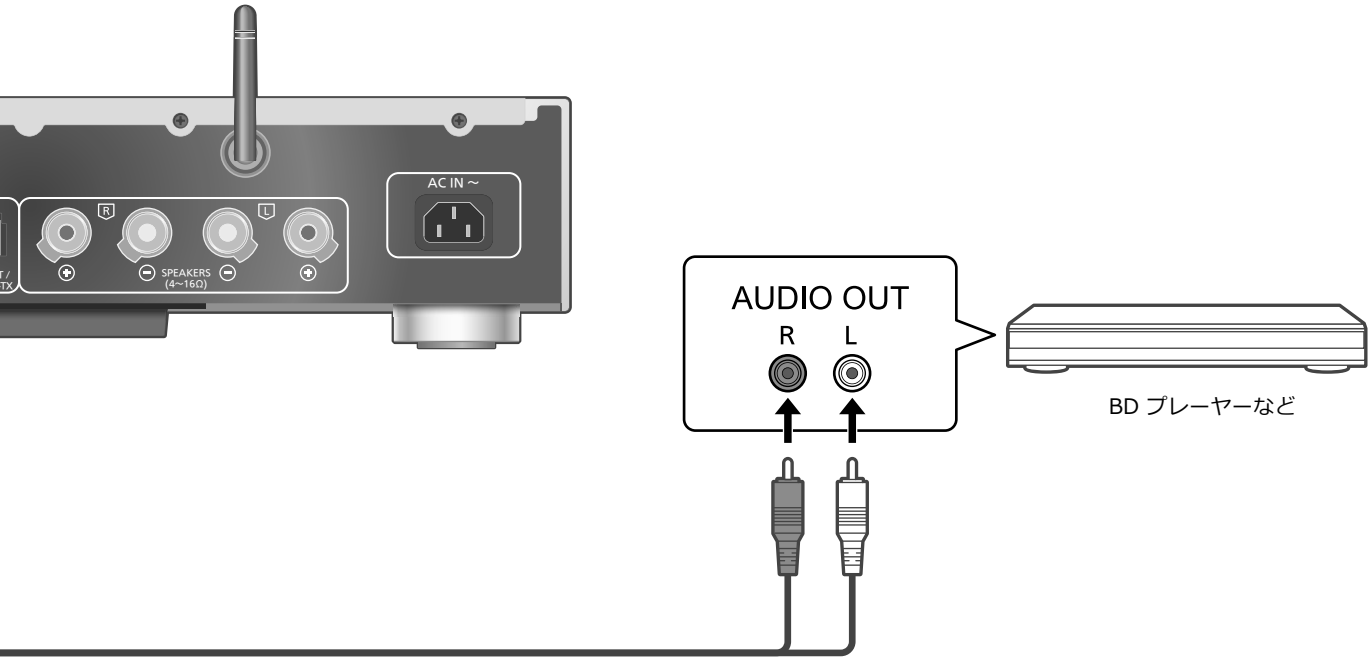
**5 [ANALOG] を押して入力ソースを「LINE」または「PHONO」に切り換える**

- 本体の入力切換つまみでも切り換えることができます。

**6 接続した機器側を操作して音楽を再生する**

※1 PHONO イコライザー内蔵のレコードプレーヤーと接続する場合、ケーブルを本機のアナログ音声入力端子（LINE IN）に接続してください。

※2 アース線のあるレコードプレーヤーと接続する場合、アース線を本機の PHONO EARTH 端子に接続してください。




オーディオケーブル
（市販品）

**■音声がひずむとき**

アナログ音声入力端子に接続中に音声がひずむ場合は、アッテネーターを「On」に切り替えると改善される場合があります。

• お買い上げ時の設定は「Off」です。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Attenuator (LINE)」または「Attenuator (PHONO)」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「On」を選び、[OK] を押す**

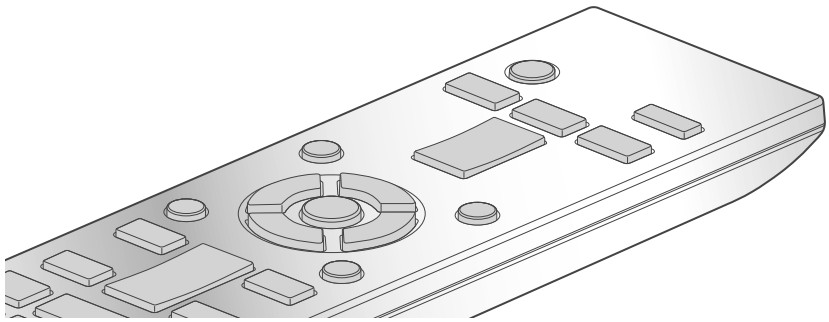
# 本機の設定を変更する

お好みに合わせて音質を調整したり、いろいろな機能の設定ができます。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して設定するメニューを選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ][ ◀ ][ ▶ ] を押して項目や設定値を選び、[OK] を押す**



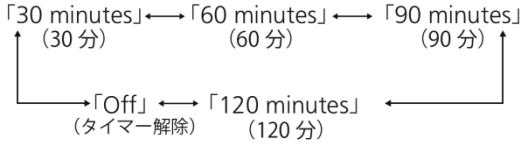
## 低音域・中音域・高音域を調整する「Tone Control」

出力する音声の強弱を「BASS」（低域）、「MID」（中域）、「TREBLE」（高域）ごとに調整することができます。

- 有効にするときは「On (adjustment)」を選択してください。
- 各レベルはそれぞれ「- 10」から「+ 10」まで調整できます。
- 「On (adjustment)」に設定すると、「TONE」が表示されます。

## おやすみタイマー「SLEEP」

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。




## 電源の切り忘れを防ぐ「AUTO OFF」

無音の状態が約 20 分続き、その間ボタン操作などがなかった場合、電力を節約するため、自動的に電源「切」状態に切り換わります。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

**お知らせ**

- オートオフ機能を「On」に設定した場合、電源を切 / 入しても働きます。

## ネットワーク設定「Network」

### ネットワーク・スタンバイを設定する「Network Standby」

本機が電源「切」状態でもネットワーク接続機器用のスピーカーとして待機し、Spotify や AirPlay、DLNA 機能などをご使用のときに自動的に電源が入ります。

- お買い上げ時の設定は「Auto」です。

**Auto :**

ネットワークが接続された状態で電源を切った場合、待機状態になります。

**On :**

常に待機状態になります。

**お知らせ**

- 待機状態になっていると待機時消費電力が増えます。
- 「Network Standby」を「On」または「Auto」に設定して待機状態の場合、電源インジケーターが赤色に点灯します。

### 無線 LAN 機能の有効・無効を切り換える「Wi-Fi」

Wi-Fi 機能の有効 / 無効を切り換えることができます。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

## Wi-Fi 接続の信号レベルを確認する「Signal Level」

Wi-Fi 接続の信号の度合いを確認できます。

- 「3」が安定した信号状態です。「2」および「1」のとき、または通信の途切れが発生するときは、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか、お確かめください。
- 「0」のときは接続されていません。

## 表示文字を設定する「E Asian Character」

曲名、アーティスト名などで表示される文字が意図した文字と異なる場合は、表示文字を切り換えることができます。

**Type 1（日本）:**
日本語優先で表示します。（お買い上げ時の設定）

**Type 2（简体字）:**
中国語（简体）優先で表示します。

## ファームウェアのバージョンを確認する「F/W Version」

バージョン情報が表示されます。

## ファームウェアを更新する「F/W Update」

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。

- ファームウェアの更新内容（機能の変更および改善）については下記のサイトをご確認ください。
  jp.technics.com/support/firmware/

**ファームウェアの更新は約 10 分かかります。**
**ファームウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。**
更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示されます。
（□は数字を表しています）

**お知らせ**

- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。
- 本機のファームウェアが最新のときは、「Firmware is Up To Date」と表示されます。（更新の必要はありません）
- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

# 本機の設定を変更する（続き）

## ネットワーク経由で更新する

**■準備する**

- ネットワークに接続する。（⇒ 18）（インターネットに繋がったネットワークに接続してください）

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「F/W Update」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Internet」を選び、[OK] を押す**

**4 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す**

- 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示されます。（□は数字を表しています）
- 更新が完了すると「Success」と表示されます。

**5「Success」が表示されたら、電源プラグを抜く**

**6 3 分以上たってから、電源プラグを差し込む**

**お知らせ**

- お使いのインターネット環境などによっては、更新に時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。

## USB デバイスで更新する

**■準備する**

- サポートページよりバージョンアップ用のファームウェアをダウンロードし、バージョンアップ用 USB デバイスを作成する。
  –バージョンアップ用 USB デバイスの作成方法は、下記のサイトをご確認ください。
  jp.technics.com/support/firmware/

**1 バージョンアップ用 USB デバイスを本体に接続する**

**2 [SETUP] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「F/W Update」を選び、[OK] を押す**

**4 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「USB」を選び、[OK] を押す**

**5 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す**

- 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示されます。（□は数字を表しています）
- 更新が完了すると「Success」と表示されます。

**6「Success」が表示されたら、電源プラグを抜く**

**7 3 分以上たってから、電源プラグを差し込む**

**お知らせ**

- お使いの USB デバイスによっては、更新に時間がかかる場合があります。

# 音質を調整する

お好みに合わせて音質を調整して、音楽をお楽しみください。

## より自然な音で聴く（リ . マスター）

再生帯域やビットを拡張することにより、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

**[RE-MASTER] を押して On/Off を切り替える**

- 有効にするときは「On」を選択します。

## ダイレクトモード

本モードを有効にすると、音声信号を各種処理回路を通さずにダイレクトに出力します。

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

**[DIRECT] を押して On/Off を切り替える**

- 有効にするときは「On」を選択します。

お手持ちのスピーカーに合わせて、最適な調整を行います。

## スピーカー接続時のアンプの出力信号を測定し、出力を補正する（LAPC）

**■準備する**

• ヘッドホンは取り外しておいてください。

**測定中のテスト音について**
測定精度確保のために比較的大きなテスト音がスピーカーから間欠的に出力されます。（約 2 分）
測定中の音量は変えることができません。

**1 [ ⏻ ] を押して電源を入れる**

**2 表示窓に「LAPC Measuring」が表示されるまで [LAPC] を押したままにする**

アンプの出力信号の測定が始まります。左右のスピーカーからテスト音が出力されることを確認してください。
測定が終了すると自動的にアンプの出力補正が「入」に切り換わります。

• 測定中に [LAPC] を押すと測定を中止します。
• 測定中、出力補正中にヘッドホンを接続すると途中で中止されます。

**■出力補正機能を入 / 切するには**

[LAPC] を押してください。押すたびに切り換わります。

• 表示窓に「On」/「Off」が表示されます。

**お知らせ**

• 接続するスピーカーの種類によっては、出力補正機能の効果が少ない場合があります。
• 出力補正の設定は測定をやり直すまで維持されます。スピーカーを交換した場合は、出力測定をやり直してください。

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

## 本機の温度上昇について

本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

## ファームウェアを更新していますか？

本機の動作を改善するために、ファームウェアは必要に応じて更新されています。（⇒ 37）

## 本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

**1 [SETUP] を押す**

**2 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Initialization」を選び、[OK] を押す**

**3 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す**

- 確認画面が表示されます。次の手順で「Yes」を選ぶと、リモコンモードなどのすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

**4 [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す**

## 共通

**本機が操作を受け付けなくなった、正常に動作しなくなった**

- 各種安全装置が働いていることがあります。
  ① 本体の [ ⏻/I ] を押し、電源を切る
  –切れない場合は、約 5 秒以上押したままにすると強制的に切れます。
  （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 3 分後再びコンセントに差し込む）
  ② 本体の [ ⏻/I ] を押し、電源を入れる
  （起動に時間がかかる場合があります）

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- リモコンが正しく働いていないこともあります。（⇒ 43）

**再生中に「ブーン」という音がする**

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。
- テレビの近くなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような場所から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力する場合があります。

**音声が正常に出力されない**

- 本機、または接続機器の音量を調整してください。
- 接続方法は正しいですか。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。接続を確認後、アンプの出力信号を測定してください。（⇒ 39）
- 電源を切ってから接続し直してください。
- 入力ソースを正しく選択してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- マルチチャンネルのコンテンツの再生には対応していません。
- 本機のデジタル音声入力端子は、リニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。

**再生が始まらない**
- お使いの環境や接続機器の仕様によっては、少し時間がかかる場合があります。
- 再生可能なファイルか確認してください。(⇒ 49)

**電源が突然切れる**
- オートオフ機能が働いていませんか。(⇒ 36)
- 本機には温度上昇による損傷を防ぐための保護回路が備わっています。長時間大きな音量で本機を使用すると、自動的に電源が切れる場合があります。温度が下がってから再度電源を「入」にしてください。(温度が下がるまで約 3 分かかります)

**音が途切れる**
- お使いの環境により、音声が途切れる場合があります。接続した機器の説明書や接続を確認してください。

**本機の設定が初期化される**
- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

## USB

**USB デバイスを接続しても認識されない**
- ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるか確認してください。

**[ ►/II ] を押しても再生が始まらない**
- 音楽ファイルのフォーマットをご確認ください。(⇒ 49)

**操作に時間がかかる**
- 容量の大きい、または曲数やフォルダ数の多い USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

## iPhone/iPad/iPod

**接続しても認識されない、操作できない**
- 正しい入力ソースを選んでいますか。「USB」を選んでください。(⇒ 29)
- iPhone/iPad/iPod の接続方法は正しいですか。(⇒ 29)
- iPhone/iPad/iPod の電池が切れていませんか。iPhone/iPad/iPod を充電してから (⇒ 29)、接続をやり直してください。
- iPhone/iPad/iPod の電源を切 / 入してから、接続をやり直してください。

**充電が始まらない**
- 本機の電源が「切」になっていませんか。本機の電源を「入」にして、充電が始まったことを確認してから「切」にしてください。
- 電池の切れた iPhone/iPad/iPod を充電する場合
  - iPhone/iPad/iPod を本機に接続時は本機の電源を入れてください。また、iPhone/iPad/iPod の操作ができるようになるまでは本機の電源を切らないでください。

## Bluetooth®

**Bluetooth® 機器が登録できない**
- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

**Bluetooth® 機器と無線接続されない**
- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇒ 30)
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

**Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない**
- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器の説明書などをお読みください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されなかったり、ノイズが発生することがあります。その場合、本機の通信モードを「Mode1」に設定することで改善されることがあります。(⇒ 31)

**音が途切れる、音が飛ぶ、雑音が多い**
- Bluetooth® 通信使用可能距離 (約 10 m) を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と Bluetooth® 機器を、それらの機器から離してお使いください。
- 本機の通信モードを「Mode1」に設定してみてください。(⇒ 31)

## PC

**パソコンが本機を認識しない**

- 動作環境を確認してください。(⇒ 33)
- パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、USB ケーブルを再度接続してください。
- 本機と接続するパソコンの USB 端子を変更してください。
- ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用 USB ドライバーをインストールしてください。

## ネットワーク

**ネットワークに接続できない**

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 18)
- 無線 LAN 機能が無効になっている場合は、設定を有効にするか、有線 LAN 接続してください。
- 本機は WPA2™ の Wi-Fi セキュリティ方式に対応しています。
  本機をネットワーク接続する際は、WPA2™ に対応している無線ブロードバンドルーターをお使いください。ルーターが対応するセキュリティ方式や、設定の変更についてはルーターの説明書をご覧になるか、インターネットサービス業者にお問い合わせください。
- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- ルーターによっては WPS ボタンで接続できない場合があります。他の接続方法をお試しください。(⇒ 18)
- 無線 LAN の電波環境や干渉が原因で接続できないことがあります。その場合は、他の接続方法をお試しください。解決しない場合は、有線 LAN で接続してください。(⇒ 18)
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。

**本機を接続機器のスピーカーとして設定できない**

- 接続機器が本機と同じネットワークに接続されているか確認してください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- 本機の電源を切 / 入してから、再度本機を接続機器のスピーカーとして選択してください。

**再生が始まらない、音が途切れる**

- スピーカーと本体との距離を離してみてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と機器を離してお使いください。
  - お使いの無線ブロードバンドルーターが 5 GHz 帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試しください。
    5 GHz 帯に変更するにはインターネットブラウザを使う接続をやり直してください。(⇒ 22)
    手順 5 で 5 GHz 帯の電波のネットワーク名(SSID)を選んでください。
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところに本機を置かないでください。
- 再生が中断された場合は、接続機器の再生状態を確認してください。
- 本機とルーターを近づけてご使用ください。
- 「Signal Level」で Wi-Fi 接続の信号の度合いを確認し、ルーターの位置などを調整してください。(⇒ 37)
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは iOS 機器や iTunes でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。(⇒ 26)
- これらの方法で解決しない場合は、有線 LAN(LAN 端子)で接続できる機器は、LAN ケーブルで接続し直してください。(本機や NAS、DLNA サーバーなど)

**DLNA サーバーが表示されない、保存されたコンテンツが表示されない**

- 状態によっては、正しく表示されないことがあります(例えば、コンテンツ追加直後など)。しばらく待ってから、やり直してください。また、DLNA サーバーの説明書もご覧ください。

**パソコンに保存してある音楽ファイルが見つからない**

- ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、ネットワークサーバーに登録されていない音楽ファイルは表示されません。ネットワークサーバーの説明書を確認してください。

## Spotify

**再生が始まらない、音が途切れる**
- インターネットのご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、音声が途切れたり、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- ネットワークの状況によっては、再生が正常にできないことがあります。
- 国や地域の制約等により、再生できないことがあります。
- ネットワークサービスは、予告なく変更・停止する場合があります。

**表示文字が正しくない**
- Spotify から配信される曲名などは本機で正しく表示されない場合があります。

## リモコン

**リモコン操作ができない**
- 電池が消耗している場合は電池を交換してください。（⇒ 14）
- 本体の受信部とリモコンの間に障害物がありませんか。（⇒ 12）
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。（⇒ 15）

**本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する、他の機器のリモコンで本機が誤動作する**
- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。（⇒ 15）

## 表示窓

⓵
本機で再生できないファイルを表すアイコンです。（タイトル名の先頭に表示されます。）
- 再生できるファイルを選択してください。
- 再生可能なファイルについて（⇒ 49）

**AUTO OFF**
本機の使用が約 20 分間ない場合、オートオフ機能（⇒ 36）が働き、電源が切れます。取り消すときは、[OK] などを押してください。

**Checking Device**
接続した iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスを確認中です。
- 表示が消えてから操作を行ってください。

**Connect to Network**
- ネットワークに接続し、ネットワーク経由でファームウェアの更新が始まるのをお待ちください。（⇒ 37、38）

**Connect USB Device**
- サポートページよりバージョンアップ用のファームウェアをダウンロードしてバージョンアップ用 USB デバイスを作成し、接続してください。（⇒ 37、38）

**Download Fail**
ファームウェアのダウンロードに失敗しました。
ネットワークがインターネットに接続されていません。
- しばらく待ってから、やり直してください。
- お使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がインターネットに接続されているか、確かめてください。

**Empty**
曲の入っていないフォルダを選択しています。
- フォルダに曲を入れてから、操作をやり直してください。

ネットワーク上にサーバーが存在しません。
- サーバーが本機と同じネットワークに接続されていることを確かめてから、本機との接続をやり直してください。（⇒ 18）

**Error**
誤った操作をしています。
- 操作をやり直してください。

**Fail**
ネットワークの設定に失敗しました。
- 手順を確認し、ネットワークの設定をやり直してください。（⇒ 18）

**Firmware update is available**
ファームウェアの更新（無料）が可能です。
① [OK] を押す
② [ ▲ ][ ▼ ] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表されます。（□は数字を表しています）
- ファームウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。（⇒ 37）
- 更新が完了すると「Success」と表示されます。

③「Success」が表示されたら電源プラグを抜き、その後 3 分以上たってから、電源プラグを差し込む
- ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。
  jp.technics.com/support/firmware/

**F □□（□は数字を表しています）**
異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切る場合があります）
- 著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。
- しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます）
  それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

**Load Fail**
接続した USB デバイスにバージョンアップ用のファームウェアがありません。
• バージョンアップ用のファームウェアを USB デバイスにダウンロードしてください。(⇒ 38)

**No Device**
USB デバイスが接続されていません。
• 再生できる USB デバイスを接続してください。(⇒ 28)

**No Network Available**
ネットワークに接続されていません。
• ネットワークの接続を確かめてください。(⇒ 18)

**Not Measured**
出力信号の測定が実施されていません。
• 出力信号の測定を行ってください。(⇒ 39)

**Not Valid**
操作された機能は現在使用できません。
• 手順や設定を確かめてください。

**Please Wait**
電源操作時などに表示されます。(最大 1 分半ほど)
• 表示が消えるまでお待ちください。

**Remote Mode**
本機のリモコンで再生操作ができません。(本機を DMR として音楽を再生する場合など)
• 接続している機器側で再生操作を行ってください。

**Searching**
ネットワークの DLNA サーバーを確認中です。
• 表示が消えてから、操作を行ってください。

**Signal Overflow**
アナログ音声入力端子に接続中の音声がひずんでいる場合に表示されます。
• 現在、選択しているアナログ音声入力に応じて「Attenuator (LINE)」または「Attenuator (PHONO)」を選び、アッテネーターを「On」にしてください。(⇒ 35)

**U30 REM 1/U30 REM 2**
リモコンモードの設定が本機と合っていません。
• リモコンモードを変更してください。(⇒ 15)

**Unlocked**
機器が接続していない状態で「PC」「COAX1」「COAX2」「OPT」を選んでいます。
音声信号のサンプリング周波数などが正しく入力できていません。
• 接続を確かめてください。(⇒ 32、33)
• 再生可能なファイルについて (⇒ 49)

**USB Over Current Error**
iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスに過大な電流が流れるのを検出しました。iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスを本機から取り外して、接続をやり直してください。(⇒ 28、29)
• 電源を切 / 入してください。

**Wi-Fi Setup**
無線 LAN 接続の設定がはじまります。無線 LAN 接続する場合は、「On」を選んで [OK] を押してください。Wi-Fi 機能が有効になります。(⇒ 19)
• 無線 LAN 接続しない場合は、「Off」を選んで [OK] を押してください。

**Hub Device Not Supported/Not Supported/ Device Not Recognized/ USB Device Not Supported**
対応していない iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスです。iPhone/iPad/iPod、または USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。
• iPhone/iPad/iPod、または USB デバイスが対応している機種かどうか、確認してください。
• iPhone/iPad/iPod の電源を入れ直し、接続をやり直してください。
• 再生可能なファイルについて (⇒ 49)

## ネットワークサービスについて

**サービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。**

# 対応メディアについて

## USB

- すべての USB デバイスとの接続を保証するわけではありません。
- 本機は FAT16、FAT32 形式でフォーマットされた USB デバイスに対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB デバイスは本機に直接接続してください。
- USB 接続のカードリーダーライターは使用できません。
- 本機では USB デバイスへの録音はできません。
- 再生できないファイルがある場合は、保存しているファイルの一部を認識できない場合があります。
- 再生可能なフォーマットについて（⇒ 49）

## iPhone/iPad/iPod

- iPhone/iPad/iPod のデータ管理について、当社では一切の保証をしておりません。
- 対応している iPhone/iPad/iPod（2015 年 6 月現在）
  iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s
  iPad Air 2、iPad Air、iPad（第 3 および第 4 世代）、iPad 2、iPad mini 3、iPad mini 2、iPad mini
  iPod touch（第 5 世代）
  iPod nano（第 7 世代）

**お願い**

- iPod classic、iPod [ 第 4 世代（カラーディスプレイ）、第 5 世代（ビデオ）]、iPod nano（第 1 世代）は接続しないでください。

**音のエチケット**

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

# 無線機能使用上のお願い

### ■使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

### ■周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。

① 2.4 GHz 帯を使用
② 2.400 GHz ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用
③ 変調方式が DSSS と OFDM 方式
④ 電波与干渉距離 40 m 以下
⑤ 変調方式が FH-SS 方式
⑥ 電波与干渉距離 10 m 以下

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**パナソニック株式会社**
**パナソニック お客様ご相談センター**
**（⇒ 51）**

### ■機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

### ■使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用また使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID：ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  –電子レンジ
  –デジタルコードレス電話機
  –その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  –電波が反射しやすい金属物などの近く
- **電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。**
- すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

### ■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

### ■用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

“Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
Wi-Fi Protected Setup™ 識別のマークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
“Wi-Fi®” は、“Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
“Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。

「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone、iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。この製品と iPod、iPhone、iPad を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。
AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
iPad Air、iPad mini は、Apple Inc. の商標です。
iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Google Play、Android は Google Inc. の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

aptX® software is copyright CSR plc or its group companies. All rights reserved.
The aptX® mark and the aptX logo are trademarks of CSR plc or one of its group companies and may be registered in one or more jurisdictions.

DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

FLAC Decoder
Copyright (C)
2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Spotify のソフトウェアはこちらのサードパーティーライセンスに準じます。
https://developer.spotify.com/esdk-third-party-licenses/

# 仕様

### ■総合

| | | |
|---|---|---|
| 電源 | AC 100 V、50/60 Hz | |
| 消費電力 | 96 W | |
| 電源切（スタンバイ）時の消費電力※ | Network Standby Off | 約 0.3 W |
| | Network Standby On | 約 2.9 W |
| 寸法（幅×高さ×奥行） | | 430 mm × 98 mm × 424 mm |
| 質量 | | 約 11.5 kg |
| 許容動作温度 | | 0 ℃～ 40 ℃ |
| 許容相対湿度 | | 35 % ～ 80 % RH（結露なきこと） |

※ iPhone/iPad/iPod 非充電時

### ■アンプ部

| | | |
|---|---|---|
| 定格出力 | | 50 W + 50 W (1 kHz、T.H.D. 0.5 %、8 Ω、20 kHz LPF、JEITA)<br>100 W + 100 W (1 kHz、T.H.D. 0.5 %、4 Ω、20 kHz LPF、JEITA) |
| 推奨負荷インピーダンス | | 4 Ω - 16 Ω |
| 周波数特性 | PHONO (MM) | 20 Hz-20 kHz (RIAA DEVIATION ± 1 dB、8 Ω) |
| | LINE | 5 Hz - 80 kHz (-3 dB、8 Ω) |
| | DIGITAL | 5 Hz - 90 kHz (-3 dB、8 Ω) |
| 入力感度 / 入力インピーダンス | LINE | 200 mV / 22 kΩ |
| | PHONO (MM) | 2.5 mV / 47 kΩ |

### ■Bluetooth® 部

| | |
|---|---|
| バージョン | Bluetooth® Ver. 3.0 |
| 送信出力 | Class 2（2.5 mW） |
| 対応プロファイル | A2DP（SCMS-T 対応）、AVRCP |
| 対応コーデック | aptX® Low Latency、AAC、SBC |
| 通信方式 | 2.4 GHz Band FH-SS |
| 見通し通信距離 | 約 10 m※ |

※ 温度 25 ℃、高さ 1 m、「Mode1」（通信の安定性を重視したモード）の条件で測定

### ■入出力端子部

| | |
|---|---|
| ヘッドホン | ステレオ（Φ 6.3 mm） |
| USB | 前面、USB A タイプコネクタ |
| | 対応 USB メモリ容量：最大 2 TB |
| | 最大フォルダ数（アルバム数）：800 |
| | 最大ファイル数（曲数）：8000 |
| | ファイルシステム：FAT16、FAT32 |
| | USB ポート出力：DC OUT 5 V、2.1 A MAX |
| PC 入力 | 背面、USB B タイプコネクタ |
| イーサネットインターフェース | LAN（100 BASE-TX、10 BASE-T） |
| アナログ入力 | LINE IN：ピンジャック |
| | PHONO (MM)：ピンジャック |
| デジタル入力 | 光デジタル入力：光角型端子 |
| | 同軸デジタル入力× 2：ピンジャック |
| | サポートフォーマット：LPCM |

### ■USB 対応フォーマット

**USB-A**

| | |
|---|---|
| USB 規格 | USB2.0 High-speed<br>USB Mass Storage class |

**USB-B**

| | |
|---|---|
| USB 規格 | USB2.0 High-speed<br>USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode |
| DSD コントロールモード | ASIO Native mode、DoP mode |

### ■Wi-Fi 部

| | | |
|---|---|---|
| 規格 | | IEEE802.11a※ / b / g / n 準拠<br>ARIB STD-T71（5 GHz 帯）、ARIB STD-T66（2.4 GHz 帯）<br>（5 GHz は屋内使用限定） |
| 周波数帯域 | | 2.4 GHz 帯<br>（1 - 13 チャンネル）<br>5 GHz 帯<br>（36、40、44、48 チャンネル） |
| セキュリティ | WPA™ / WPA2™ | |
| | 暗号化方式 | TKIP / AES |
| | 認証方式 | PSK<br>WEP（64 bit/128 bit） |
| WPS version | | Version 2.0 |

※ 従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。

## ■ファイル形式

本機は以下のファイル形式に対応しています。
- 本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。
- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない形式のファイルを再生すると、音声が途切れたりノイズが出ることがあります。
  その場合は、本機が対応しているファイル形式か確認してください。
- 本機は VBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 接続している機器（サーバー）によっては本機が対応していないファイル形式を変換して出力できるものもあります。
  詳しくは、サーバーの説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるファイル情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。

**USB-A で音楽を再生する場合**

| ファイルの種類 | 拡張子 | サンプリング周波数 | ビットレート<br>量子化ビット数 |
|---|---|---|---|
| MP3 | .mp3 | 32、44.1、48 kHz | 16 ～ 320 kbps |
| AAC | .m4a/.aac | 32、44.1、48、88.2、96 kHz | 16 ～ 320 kbps |
| WMA | .wma | 32、44.1、48 kHz | 16 ～ 320 kbps |
| WAV | .wav | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| FLAC | .flac | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| AIFF | .aiff | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| ALAC | .m4a | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| DSD | .dff/.dsf | 2.8224 MHz、5.6448 MHz | |

**PC（USB-B）で音楽を再生する場合※1**

| ファイルの種類 | 拡張子 | サンプリング周波数 | ビットレート<br>量子化ビット数 |
|---|---|---|---|
| LPCM | | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz | 16、24、32 bit |
| DSD | .dff/.dsf | 2.8224 MHz、5.6448 MHz、11.2896 MHz | |

**DLNA で音楽を再生する場合※2**

| ファイルの種類 | 拡張子 | サンプリング周波数 | ビットレート<br>量子化ビット数 |
|---|---|---|---|
| MP3 | .mp3 | 32、44.1、48 kHz | 16 ～ 320 kbps |
| AAC | .m4a/.aac | 32、44.1、48、88.2、96 kHz | 16 ～ 320 kbps |
| WMA | .wma | 32、44.1、48 kHz | 16 ～ 320 kbps |
| WAV | .wav | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| FLAC | .flac | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| AIFF | .aiff | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| ALAC | .m4a | 32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz | 16、24 bit |
| DSD | .dff/.dsf | 2.8224 MHz、5.6448 MHz | |

※ 1 専用アプリケーションをダウンロード・インストールすると様々な種類のフォーマットのファイルを再生することができます。（⇒ 33）詳しくはアプリケーションの説明書をお読みください。

※ 2 ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PC に入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

注：上記の仕様は 2016 年 10 月現在の情報です。予告なく変更されることがあります。変更内容については、下記ホームページをご覧ください。

jp.technics.com/support/firmware/

---

「JIS C 61000-3-2 適合品」
：JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

# 保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理 などは

## まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

| | |
|---|---|
| 販売店名 | |
| 電　話 | （　　）　　－ |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |

**■修理を依頼されるときは**

40 - 44 ページの「故障かな !?」でご確認のあと、
直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、
お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

| | |
|---|---|
| 製品名 | ネットワークオーディオアンプ |
| 品番 | SU-G30 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 診断・修理・調整・点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代 |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用 |

※補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このネットワークオーディオアンプの
補修用性能部品（製品の機能を維持するための
部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

## パナソニック 総合お客様サポートサイト　http://www.panasonic.com/jp/support/

### 使い方・お手入れなどのご相談

**DIGA（ディーガ）・オーディオご相談窓口**

フリーダイヤル　パナは　キュウハチニ
**0120-878-982**　受付時間 9:00～20:00（年中無休）
携帯・PHS OK

■上記電話番号がご利用いただけない場合　**06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル　**0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**
**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

・ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

### 修理に関するご相談

**修理ご相談窓口**

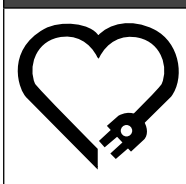
フリーダイヤル　パナは　イイヨ
**0120-878-554**
携帯・PHS OK

■上記電話番号がご利用いただけない場合　**03-6633-6700**
■FAX フリーダイヤル　**0120-878-225**

**便利な修理サービスサイト**
**http://club.panasonic.jp/repair/**

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

| 愛情点検 | 長年ご使用のネットワークオーディオアンプの点検を！ | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
|  | こんな症状はありませんか | • 煙が出たり、異常なにおいや音がする<br>• 音声が出ないことがある<br>• 内部に水や異物が入った<br>• 本体に変形や破損した部分がある<br>• その他、異常や故障がある | ▶ | ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら
http://club.panasonic.jp/aiyo/

パナソニック株式会社
パナソニックエンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号
© Panasonic Corporation 2015-2023

TQBM0084-1
M0516KZ2013